

取扱説明書

LG CineBeam Laser

DLPプロジェクター

このたびはLGプロジェクターをお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

HF85JG



* M F L 7 0 2 2 0 6 2 1 *

(1808-REV03)

www.lg.com/jp

Copyright © 2017 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jpでご確認いただけます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの登録商標または商標です。



DTS特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。DTS Licensing Limitedからの実施権に基づき製造されています。DTS、DTS-HD、シンボル&DTSまたはDTS-HDおよびシンボルは登録商標はDTSの登録商標です著作権および版權はDTS, Inc.の所有です。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCC I-B



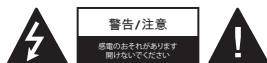
ヒント

- 本書で使用されているイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。
- 実際のプロジェクターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、本書の内容と異なる場合があります。

安全上のご注意

安全上の注意事項を正しく守り、事故が発生したり、本製品を誤って使用することがないようにしてください。

- 下記の通り、安全に関する注意事項には「警告」と「注意」の2種類があります。
 **警告** 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれがある警告事項が記載されています。
 **注意** 取り扱いを誤ると、ケガや製品の損傷を招くおそれがある注意事項が記載されています。
- 取扱説明書をよく読み、必要な際にいつでも参照できるよう保管しておいてください。



 正三角形で囲まれた稲妻の矢印は、製品内に絶縁されていない危険な電圧があり、感電のおそれがあることをユーザーに警告することを目的とします。

 正三角形で囲まれた感嘆符は、製品に付属するマニュアルに、運用上および保守（サービス）上、重要な手順が記載されていることをユーザーに警告することを目的とします。

注意と警告

- － 火災や感電の危険を避けるため、この製品を雨や湿気にさらさないでください。

本ページ「安全上のご注意」をよくお読みいただき、すべての警告に従ってください。

室内での設置場所について

警告

- 本製品を屋外で使用しないでください。また、湿気の多いところに置いたり水に濡らしたりしないでください。
 - － 本製品は防水ではありませんので、発火や感電のおそれがあります。
- 本製品を、直射日光の当たる場所や火気（ラジエーター、火、ストーブなど）の近くに置かないでください。
 - － 発火のおそれがあります。
- エアゾールなどの引火性溶剤をプロジェクターの近くで噴射しないでください。
 - － 発火のおそれがあります。
- プロジェクターを小さなお子様に触れさせないようにしてください。
 - － 製品の落下によって、死亡または負傷につながるおそれがあります。

- 通気性が悪い場所（本棚やクローゼットなど）や、カーペット、クッションの上に本製品を設置しないでください。
 - － 内部温度の上昇により発火するおそれがあります。
- 加湿器やキッチンカウンターなど、蒸気、油、油煙の発生源の近くに製品を置かないでください。
 - － 発火、感電、腐食のおそれがあります。
- 油や油煙の発生源の近くにある壁や天井に本製品を設置しないでください。
 - － 製品が損傷したり落下によって重傷を負うおそれがあります。
- ほこりの多い場所にプロジェクターを置かないでください。
 - － 発火のおそれがあります。
- 本製品が濡れるような湿度の高い場所（浴室など）では使用しないでください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- テーブルクロスやカーテンが通気口をふさがないように気をつけてください。
 - － 内部温度の上昇により発火するおそれがあります。
- 十分な通気性を確保するため、プロジェクターの周りには周囲30cm以上の空間を空けて設置してください。
 - － 内部温度の上昇による発火を予防できます。
- 本製品を天井に設置する場合は、認証を受けた工具を使用し、専門の技術者が作業を行ってください。正しく設置されないと、製品が落下する可能性があります。
 - － 本製品の破損や、負傷するおそれがあります。製品の設置については、カスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 天井取り付け器具を使用する場合は、ネジがゆるまないよう十分注意してください。また、製品に油、または潤滑剤を注すとケースに亀裂が生じ、製品が落下するおそれがあります。製品の損傷のほか、製品の下に人がいる場合、重傷を負うおそれがあります。

 注意

- テーブルや棚にプロジェクターを設置するときは、端に置かないでください。
 - － プロジェクター落下によって、負傷や本製品の破損の原因になります。必ずプロジェクターの専用キャビネットやスタンドを使用してください。
- プロジェクターを移動するときは、電源をオフにして、電源プラグとコードを取り外してください。
 - － 電源コードの損傷、断線によって、火災や感電が発生するおそれがあります。

- 不安定な棚や斜面など、不安定な面や振動する面にプロジェクターを置かないでください。
 - － プロジェクターの落下によって、負傷や本製品の破損の原因になります。
- 外部デバイスをプロジェクターに接続するは、プロジェクターを落下や衝撃を与えないように注意してください。
 - － プロジェクターの破損や負傷するおそれがあります。
- 電源コードに重いものを乗せないでください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。
 - － 感電するおそれがあります。
- マルチタップを使用しないでください。
 - － 電源コンセントの過熱により発火するおそれがあります。
- ACアダプター、電源プラグ、使用中のコンセントの差し込み口にほこりが付着しないようにしてください。
 - － 火災の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターまたはACアダプターから煙が出たり、異臭がした場合は、直ちに製品の使用を停止して、速やかにコンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - － 火災の原因となるおそれがあります。
- 主電源をオフにするには、電源プラグを取り外します。電源プラグは、常に手の届く場所に配置する必要があります。

電源

警告

- 電源接続器は断路装置として使用します。
 - － 電源プラグは電源を切断する装置です。緊急時に備えて、電源プラグは常に手が届く状態にしておく必要があります。
- アース線を接続してください。(アース線のないデバイスを除きます)。
 - － 感電防止のため、必ずアース線を接続してください。装置を接地できない場合は、専門の電気技師に別途ブレーカーの取り付けを依頼してください。
 - 電話線、避雷針、ガス管に接続してプロジェクターを接地しないでください。
- 電源プラグはコンセントに完全に差し込んでください。
 - － 完全に差し込まないと、発火のおそれがあります。

 注意

- ACアダプターまたは電源コードを抜くときは、電源プラグをしっかりと持ってください。
 - － コードが損傷すると、火災や製品破損の原因となるおそれがあります。
- ACアダプターの電源コードがねじれないようにしてください。
 - － 電源コードが長期間強い負荷がかかった状態のままになっていると、コードの内部が破損することがあり、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードとプラグが損傷していないこと、電源コードとプラグを改造したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、はさんだり、加熱したりしていないことを確認してください。コンセントの差し込みがゆるい場合は、本製品を使用しないでください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードは加熱する機器から離してください。
 - － コードの被膜が溶けて、発火や感電が起きるおそれがあります。
- 本製品は、電源コードが人が通る場所を縦断することのない場所に設置して、電源コードやプラグが損傷することのないようにしてください。
 - － 人がつまずいたり転倒により負傷するおそれがあります。また、断線により、火災や感電のおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しして、プロジェクターの電源をオンオフしないでください（電源プラグをスイッチのように使用しないでください）。
 - － 感電したり、製品が損傷したりするおそれがあります。
- 電源プラグがコンセントに差し込まれているときに、コンセントの反対側に導体を差し込まないでください。また、電源プラグをコンセントから抜いた直後に電源プラグに触れないでください。
 - － 感電するおそれがあります。
- LG Electronicsが提供する電源コードのみ使用してください。他の電源コードを使用しないでください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ACアダプター、電源コード、またはプロジェクターの内部に液体または異物が入った場合は、速やかに電源ボタンを押してプロジェクターの電源をオフにして、すべてのケーブルを取り外し、カスタマーセンターにご相談ください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ACアダプターの表面は熱くなります。ACアダプターは、お子様の手が届かない場所に設置して、使用中に触れられないようにしてください。
- 電源装置(ACアダプター、電源コードなど)を分解しないでください。
 - － 電源コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

- ACアダプターと電源コードをしっかり接続します。
 - － 製品の障害や火災の原因になるおそれがあります。
- 電源コードやACアダプターの上に重いものを置いたり圧力をかけないでください。
 - － 製品の破損や火災の原因になるおそれがあります。
- LG Electronicsが提供する正規のACアダプターを使用してください。
 - － 他のACアダプターを接続すると、画面がちらつくことがあります。
- 金属製のもの（硬貨、ヘアピン、金属片など）や可燃性のもの（紙やマッチなど）をプロジェクターに差し込まないでください。
 - － 感電や発火の原因となるおそれがあります。
- リモコンの電池を交換するとき、お様が電池を誤飲しないように注意してください。電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。
 - － お様が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- 本製品を分解、改造しないでください。
 - － 感電のおそれがあります。また、分解、改造による故障や負傷については、保証の対象外になります。

使用時の注意事項

警告

- 液体を含むもの（花瓶、植木鉢、カップ、化粧品、薬品、装飾品、ろうそくなど）を、プロジェクターの上に置かないでください。
 - － こぼすなどして、液体がかかると、発火、感電、製品の故障、負傷の原因となるおそれがあります。
- 強い衝撃を与えたり筐体が損傷した場合は、電源をオフにして電源コードをコンセントから引き抜き、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - － 感電するおそれがあります。
- プロジェクターの使用中に、レンズを直接見ないでください。
 - － 強い光によって目を傷めることがあります。
- ランプがオンになっているとき、またはオフにした直後は、非常に高温になっているため排気口やランプに触れないでください。
- プロジェクターの置いてある部屋でガス漏れが発生した場合は、プロジェクターや電源コンセントに触れないでください。窓を開けて換気してください。
 - － 火花が火災や火傷の原因となるおそれがあります。
- 雷雨の際は、電源コードをコンセントから抜いてください。
 - － 感電またはプロジェクターの破損の原因になるおそれがあります。

- 強い磁場を生じさせる電子機器の近くでプロジェクターを使用しないでください。
- プロジェクターの梱包に使用されているプラスチックフィルムは、お客様の手の届かない場所に保管してください。
 - 安全に扱わないと、窒息の原因となるおそれがあります。
- プロジェクター使用中は、プロジェクター上に長時間手を置かないでください。
- プロジェクターにゲームコンソールを接続してゲームをプレイするときには、画面の対角線の長さの4倍以上の距離を維持することをお勧めします。
 - 接続ケーブルの長さが十分であることを確認してください。長さが短いと、製品が落下して、傷害を負ったり、製品が損傷したりすることがあります。
- プロジェクターや電池の入っているリモコンを極度に高温な場所に置かないでください。
 - 発火、爆発のおそれがあります。
- 輸送中にレンズに衝撃を与えないように注意してください。
- レンズに触れないでください。
 - レンズが損傷する可能性があります。
- ナイフやハンマーなどの鋭利な工具をプロジェクターに使用しないでください。製品が損傷することがあります。
- 映像が表示されない、音声が出力されないときは、プロジェクターの使用を中止してください。プロジェクターの電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターの上に物を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - プロジェクターの破損や負傷するおそれがあります。
- 画面の対角線の長さの5～7倍以上の距離で視聴することをお勧めします。
 - 長時間、近くで画面を見ていると、眼精疲労の原因になります。

 注意

- プロジェクターの上に、重いものを乗せないでください。
 - プロジェクターの破損の原因になるおそれがあります。

- プロジェクターが発する光線の至近距離にものを置かないでください。
 - プロジェクターの光線に長時間さらされていると発火のおそれがあります。また、レンズの過熱によって、本製品の損傷するおそれがあります。AV機能を無効化して映写を一時的に中止するか、電源をオフにしてください。
- 音量を最大にしてプロジェクターを起動しないでください。
 - 大音量により聴覚に損傷を与えるおそれがあります。
- プロジェクターの近くで高電圧の電子機器を使用しないでください（電気虫取り器など）。製品が誤作動を起こすことがあります。

清掃

警告

- お手入れの際は、プロジェクターに液体を吹き付けしないでください。プロジェクターに液体が入らないようにしてください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- プロジェクターから煙が出たり、異臭がするなどの異常が発生した場合、またはプロジェクター内に異物が入った場合は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 放置すると、発火や感電が起きるおそれがあります。

注意

- プロジェクターのメンテナンスのため、年に一度、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 長期間プロジェクターのメンテナンスを行わないと、内部にたまったほこりや異物によって、発火や故障の原因となるおそれがあります。
- 筐体などのプラスチック部分を清掃するときは、まずコンセントから電源プラグを抜いて、やわらかい布で拭いてください。液体スプレーを使用したり、ぬれた布で拭かないでください。ガラスクリーナー、自動車用または工業用の光沢剤、研磨剤、ワックス、ベンゼン、アルコールなどを決して使用しないでください。プロジェクターが損傷する可能性があります。
 - 発火、感電や、製品の損傷（変形、変色、腐食）の原因となるおそれがあります。

- 製品の電源をオフにした直後、または製品の使用中に、光学部品（レンズやミラー）を拭かないでください。部品をお手入れする場合は、コンセントから電源コードを抜いて、水分を含まない柔らかい布でやさしく拭いてください。液体スプレーを使用したり、ぬれた布で拭かないでください。化学洗剤、自動車用または工業用の光沢剤、研磨剤、ワックス、ベンゼンやアルコールなどの揮発性溶剤、水などを使用して本体、光学部品（レンズやミラー）を拭かないでください。製品が損傷するおそれがあります。
 - － 発火、感電や、製品の損傷（変形、変色、腐食）の原因となるおそれがあります。
- 製品をお手入れする前に、コンセントからプラグを抜いてください。
 - － 感電するおそれがあります。

レーザー

警告

- 製品にはレーザーモジュールが含まれます。危険ですので、製品の分解や改造はしないでください。
- 取扱説明書に記載されていない方法で製品を操作、または改造した場合、レーザー光線にさらされる

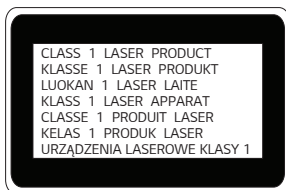
危険があります。

- 目を傷めるおそれがあるため、ユニットからの強い光を直視しないでください。
- 本書に記載されていない方法で装置の操作や調整を行い、本書の手順に従わない場合は、危険な光線にさらされるおそれがあります。

注意

- 本製品はIEC 60825-1を満たしているクラス1レーザー機器に分類されています。
- 内蔵レーザー規格（クラス4レーザーモジュール）
- 波長：448nm～462nm
 - 光出力：約4.35W x 8

製品のレーザークラスラベル



本機のレーザークラスレベルは、製品の底面に記載しています。

その他

警告

- 外出する際は、電源プラグをコンセントから抜いて、ペットなど、動物が触れない場所に保管してください。
 - － 損傷した電源コードを使用すると、ショートや発火の原因になるおそれがあります。
- 高精度電子機器や微弱無線信号を発する機器の近くでプロジェクターを使用しないでください。
 - － 製品の誤作動や、故障の原因となるおそれがあります。
- 専門の技術者以外、プロジェクターの分解や改造を行わないでください。診断、調整、修理が必要な場合は、弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 適切な換気が必要です。本製品周囲の空気の流れを妨げないでください。ケガや製品内部の過熱が起きるおそれがあります。

- レンズに触れないでください。やけどやレンズの損傷を招くおそれがあります。使用直後は、レンズおよび筐体が高温になっている可能性があります。本製品を取り扱う際は十分注意し、適切に冷却させてください。
- アース付のコンセントのみを使用してください。(アースされないデバイスを除きます)。
- 通気口に異物を挿入したりふさいだりしないでください。
 - － 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 適切な状態で使用するためにメンテナンス(37ページ)の項に従ってください。点検整備は弊社カスタマーセンターにご相談ください。
- バッテリーはお子様の手の届かない場所で保管してください。
 - － ケガや製品の損傷の原因になる可能性があります。

注意

- プロジェクターを長時間屋外で使用または保管しないでください。
- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。また、異なる種類の電池を同時に使用しないでください。
 - － バッテリーの破裂や液漏れによりケガや製品の損傷のおそれがあります。

- 製品を長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 - － ほこりがたまると、過熱、発火、絶縁不良のために火災が発生したり感電したりするおそれがあります。
- 電池は指定された規格のものを使用してください。
 - － 電池の破裂や液漏れによりケガや製品の損傷のおそれがあります。
- 電池を交換するときには異なる電池は使用しないでください。
 - － バッテリーの接触不良の場合、バッテリーが短時間で消耗したり、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- 使用済み電池は適切に廃棄してください。
 - － 爆発や火災の原因となるおそれがあります。廃棄方法は、国や地域によって異なります。バッテリー電池は地上自治体の指示に従って廃棄してください。
- 電池を投げたり分解したりしないでください。
 - － 電池が損傷し、火災や爆発の原因となるおそれがあります。
- 電池は、鍵やクリップなどの金属類の近くに保管しないでください。
 - － 過電流により、温度が急激に上昇し、火災が発生したり火傷を負ったりする可能性があります。
- 電池を、ヒーターなどの熱源の近くに保管しないでください。
 - － 火災が発生したり、電池が爆発、損傷したりすることがあります。
- 電池を、温度が60℃以上になる場所や湿度が高い場所に保管しないでください。
 - － 爆発や火災の原因となるおそれがあります。
- 電池が正しく取り付けられていることを確認してください。
 - － 電池の誤った用法は爆発、火災の原因となるおそれがあります。
- 電池を正しく交換しないと、火災の原因となるおそれがあります。
- 電池などの部品は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。

LEDリスクグループ2 (IEC62471)

注意：本製品から危険な光学的放射線が放出される可能性があります。動作中のランプを見つめないでください。目を傷めるおそれがあります。

このラベルは製品の下部に貼付されています。また、上記とは異なる言語の場合があります。

目次

ライセンス	2	デバイスを接続する	31
安全上のご注意	3	HDレシーバー、DVD、 外部デバイスへの接続	32
準備	14	– HDMI接続	32
付属品	14	PCへの接続	33
付属品以外に必要なもの	15	– HDMI接続	33
各部の名称と位置	16	ノートPCの接続	34
– 本体	16	– HDMI接続	34
– 背面	17	ヘッドホンの接続	35
ジョイスティックボタンの使用	18	デジタルアンプの接続	36
– 基本機能	18	メンテナンス	37
– OSD(オンスクリーンディ スプレイ)メニューの調整	19	お手入れ	37
LED電源インジケーター	19	– レンズのお手入れ	37
設置	20	– 筐体のお手入れ	37
– 設置に関するご注意	20	トラブルシューティング	38
– ミラーカバー使用時のご 注意	22	– 全般	38
– 画面サイズに対する映写距離	23	– 画質	38
– ケンジントン(Kensington) セキュリティシステム	24	– サウンド	39
マジックリモコン	25	– PC接続の問題	39
マジックリモコンの登録方法	27	– マイメディアでのムービ ーの再生に関する問題	40
マジックリモコンを再登録す るには	27	仕様	41
マジックリモコンの使用	28	Wireless モジュール 仕様	42
プロジェクターを使用する	29	記号	46
プロジェクターの視聴	29		
– 映像の焦点を調整する	29		
– プロジェクターを起動する	30		

準備

イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

付属品

箱を開けた際は、付属品をご確認ください。万が一付属品が不足している場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

付属品は事前の通知なしに変更されることがあります。



マジックリモコン
単三形電池2個



取扱説明書



電源コード

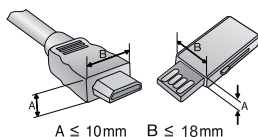


AC-DCアダプター



ミラーカバー

- HDMIケーブルの接続または、USBケーブル、USBフラッシュドライブの接続の際は、幅18mm以下、高さ10mm以下の製品を使用してください。USBケーブルやUSBフラッシュドライブがプロジェクターのUSB端子に合わない場合は、USB 2.0対応の延長ケーブル等を使用してください。
- 同時に2つのUSBストレージデバイスを接続する場合、ベゼルの厚さが8.5mm以下のデバイスを使用してください。
- HDMIケーブルはHDMIロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。
- 認証済みのHDMIケーブルではない場合、画面が表示されなかったり、接続エラーが起きることがあります。
(推奨のHDMIケーブルのタイプ)
 - 高速HDMI®/TMケーブル
 - イーサネット対応高速HDMI®/TMケーブル

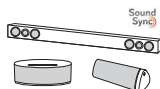


付属品以外に必要なもの

プロジェクターを使用する際、使用する機能や環境により、以下のアクセサリ部品が必要になることがあります。アクセサリ部品の購入は、製品をお求めいただいた販売店または、電気店、通販サイト等にお問い合わせください。



プロジェクター用の
スクリーン



LGオーディオ
デバイス



HDMIケーブル



オーディオケーブル
(ステレオミニプラグ)

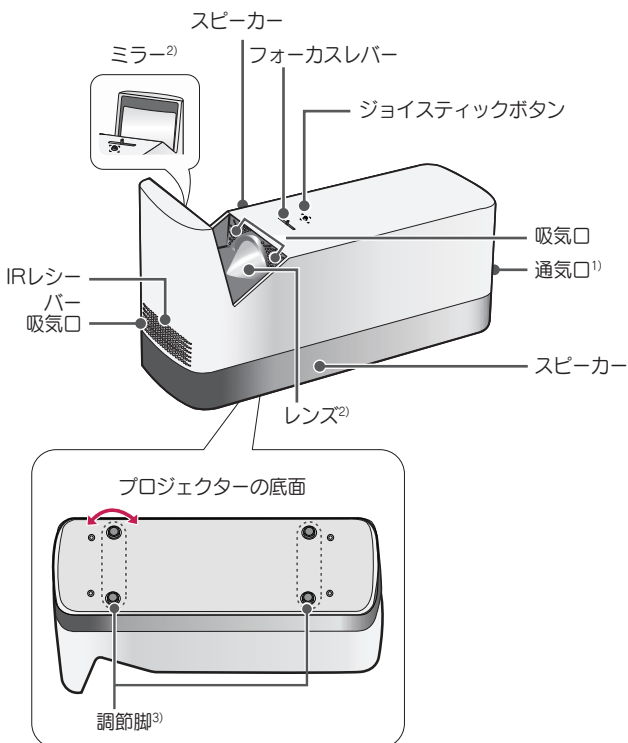


光ケーブル

各部の名称と位置

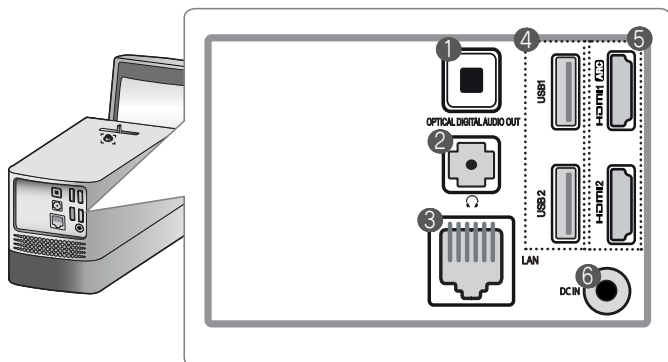
本製品は高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点が見えることがあります。これは製品の特性であり、製品不良、故障ではありません。

本体



- 1) 通気口付近は温度が上昇するため、通気口付近にものを置いたり、通気口から出る風を浴びないようにしてください。
- 2) プロジェクターの使用中に、レンズや鏡に触れないでください。レンズと鏡が損傷する可能性があります。(先のとがったものをレンズに近づけないでください)
- 3) 調節脚を左右に回して、角度を調整します。

背面

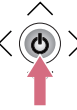
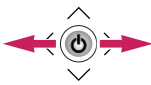


	説明
①	OPTICAL DIGITAL AUDIO OUT (光デジタル音声入出力端子)
②	🎧 (ヘッドホン端子)
③	LANポート (RJ45)
④	🔌 (USB端子)
⑤	HDMI (HDMI入力端子)
⑥	DC IN (電源コネクタ)

ジョイスティックボタンの使用

ボタンを押すかジョイスティックを前後左右に動かしてプロジェクターを操作します。

基本機能

	電源オン	プロジェクターがオフのとき、ジョイスティックボタンを押します。
	電源オフ	プロジェクターがオンのとき、ジョイスティックボタンを長押し(数秒間押し)すると電源がオフになります。 (画面上にメニューが表示されているときは、長押しするとメニューを終了します。)
	音量コントロール	ジョイスティックボタンを、左右に動かすと音量の調節ができます。
	前/後/左/右	メニューが表示されているときに前後左右に動かすと、メニューカーソルが移動します。



ヒント

- ジョイスティックボタンを前後左右に動かすときに、ボタンが押された状態で操作すると、メニュー操作、音量調節ができないことがあります。

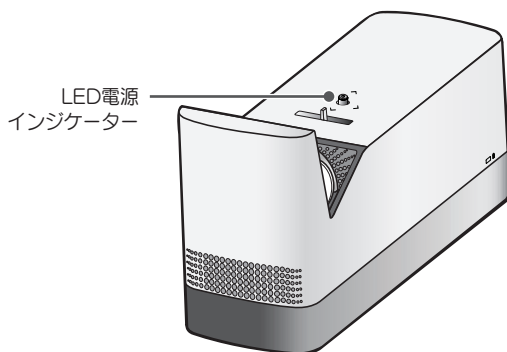
OSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの調整

プロジェクターの電源が入っているときに、ジョイスティックボタンを1回押します。

ジョイスティックボタンを前後左右に動かすと、メニュー項目（、、、）を移動できます。設定するメニュー項目に移動し、ジョイスティックボタンを押すと選択できます。

	電源をオフにします。
	入力元を変更します。
	OSDメニューを終了します。
	メインメニューを表示します。

LED電源インジケータ

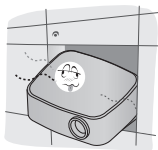


LED電源インジケータ	
赤	電源スタンバイ状態
オフ	電源オンで作動中

設置

設置に関するご注意

- プロジェクターは通気の良い場所に配置してください。
 - 内部の過熱を防ぐため、通気の良い場所にプロジェクターを設置してください。プロジェクターの近くに、通気を妨げるものを置かないでください。通気が妨げられると、プロジェクターの内部温度が上昇します。



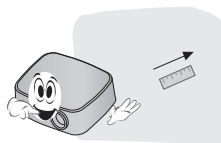
- じゅうたんやラグの上にプロジェクターを置かないでください。必ず硬くて平らな床や机の上でプロジェクターを使用してください。



- 紙屑などの異物がプロジェクターに入らないように注意してください。



- 十分な通気性を確保するため、プロジェクターの周りは周囲30cm以上の空間を空けて設置してください。



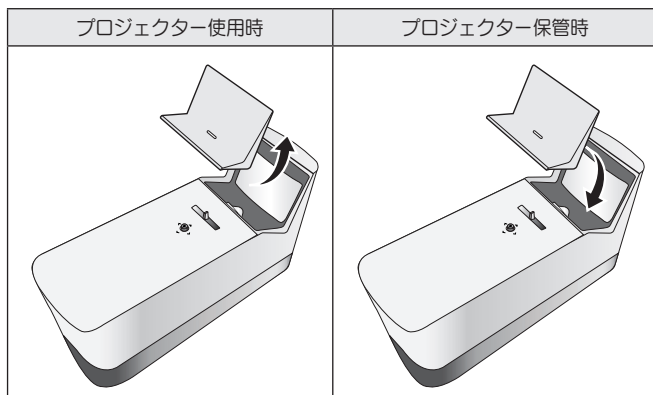
- 高温、低温、または高湿度の場所にプロジェクターを配置しないでください。
- ほこりの多い場所にプロジェクターを配置しないでください。
 - 発火のおそれがあります。
- 本製品を分解、改造しないでください。感電のおそれがあります。また、分解、改造による故障やケガに対しては、弊社は一切の責任を負いません。

- 本製品は高精度な技術で作られており、画面の一部にごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点が見えることがあります。これは製品の特性であり、製品不良、故障ではありません。
- 電子安定器付きの照明器具や3波長形蛍光灯が設置されている場所では、リモコンが機能しないことがあります。リモコンの正常な動作のため、照明器具を、国際標準を満たした照明器具の元で使用してください。
- 天井に設置するには、M4 x 8mm ネジでプロジェクターをシーリングタイプのブラケットに取り付けます。
- ネジをきつく締めすぎないでください。ケースが破損してプロジェクターが落下し、重傷を負うおそれがあります。（推奨トルク：5～8 kgf・cm）

ミラーカバー使用時のご注意

ミラーカバーは、プロジェクターを使用していない時にレンズやミラーにほこりが付着するのを防ぎます。

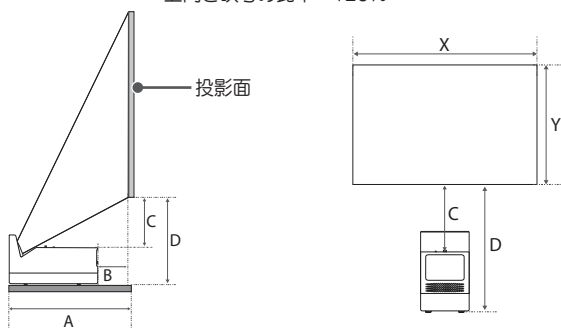
- プロジェクターを使用する時はミラーカバーを外してください。
- プロジェクターを使用していない時はミラーカバーを取り付けてください。
 - ミラーカバーがレンズやミラーに積もるほこりを防ぎます。



画面サイズに対する映写距離

- 1 プロジェクターは安定した水平な場所に設置し、接続機器の近くに設置してください。
- 2 プロジェクターは投影面から適切な距離に設置してください。プロジェクターと投影面の距離によって、投影される映像のサイズが決まります。
- 3 レンズが投影面に対して水平になるようにプロジェクターを配置します。プロジェクターが水平になっていない場合、映像が歪みます。歪みを修正するには、エッジ調整機能を使用します。
- 4 プロジェクターおよび接続機器の電源コードをコンセントに接続します。

上向き映写の比率：125%



画面サイズ [mm]	2286	2540	2794	3048
水平サイズ (X) x 垂直サイズ (Y) [mm]	1992 x 1121	2214 x 1245	2435 x 1370	2657 x 1494
A [mm]	447	489	531	573
B [mm]	77	119	161	203
C [mm]	242	273	304	336
D [mm]	385	416	447	479

映写距離は設置状況に応じて異なります。

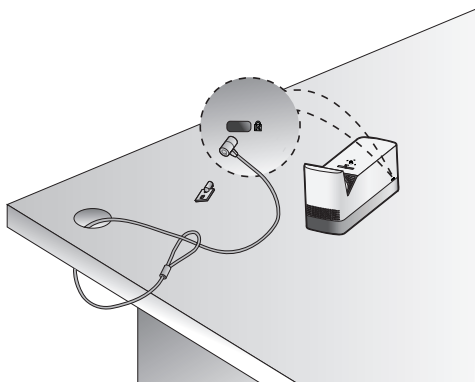


ヒント

- 映像が歪んで見える場合、スクリーンが正しく設置されているかどうかを確認します。

ケンジントン(Kensington)セキュリティシステム

- 本製品は、盗難防止用のケンジントンセキュリティ標準コネクタが付いています。ケンジントンセキュリティシステムのケーブルを、下記のように接続してください。
- ケンジントンセキュリティシステムの詳細な取り付けおよび使用手順については、ケンジントンセキュリティシステムに付属の取扱説明書を参照してください。
- ケンジントンセキュリティシステムは別売です。



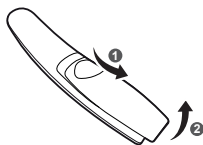
ヒント

- ケンジントンとは
ケンジントンは、ノートPC、その他の電子機器の盗難防止用のセキュリティ製品を提供する会社です。
Webサイト：<http://www.kensington.com>

マジックリモコン

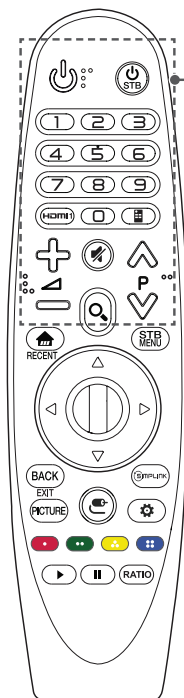
プロジェクターの使用中に電池残量不足のメッセージが表示されたら、電池を交換してください。

図のように、バッテリーカバーの上部を押してからカバーを下方向にスライドさせます。新品の適切な種類の電池（1.5V、単三）2本を、+極と－極を正しい方向に合わせてリモコンに挿入します。



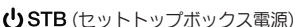
注意

- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。



(電源)

プロジェクターの電源のオンとオフを切り替えます。



STB (セットトップボックス電源)

お使いのプロジェクターのマジックリモコンにセットトップボックスを追加すると、セットトップボックスのオン/オフができます。

数字ボタン

数字を入力します。

HDMI 1

入力ソースを[HDMI1]に変更します。



(スクリーンリモート)

スクリーンリモートを表示します。

- － [ユニバーサル制御]メニューを開きます（一部地域のみ）。



音量を調節します。



(消音ボタン)

消音します。

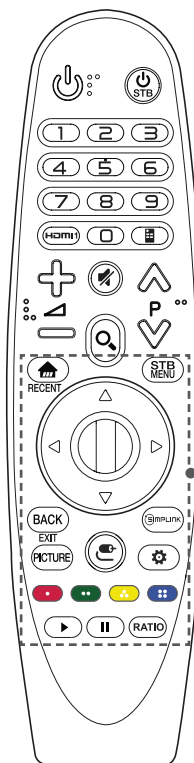


前のページまたは次のページに移動します。



(検索)

映画、その他の動画などのコンテンツの検索、または検索ボックスに文字列を入力したWeb検索を行います。



ホームメニューを表示します。

RECENT *

履歴を表示します。

STB MENU

セットトップボックスの[ホーム]メニューを表示します。

(視聴時にセットトップボックスを使用していない場合は、セットトップボックス画面が表示されます)

△ ▽ ◁ ▷ (上/下/左/右)

メニュー上のカーソルの移動に使用します。ポインターの使用中に △ ▽ ◁ ▷ ボタンを押すと、ポインターが画面から消え、マジックリモコンは従来のリモコンと同様の操作ができます。ポインターをもう一度画面に表示させるときは、マジックリモコンを左右に振ってください。

Ⓢ ホイール(OK)

メニューを選択するときは、Ⓢ ホイールボタンの中央を押します。ホイールを回転させるとページを移動することができます。

BACK

前の画面に戻ります。

EXIT *

オンスクリーンディスプレイを全てクリアし、プロジェクターの表示に戻ります。

PICTURE

[投影モード]を変更します。

ⓈIMPLINK

SIMPLINK機能を使用できます。

Ⓢ (入力)

入力元を変更します。

- Ⓢ (入力) ボタンを長押しすると、外部入力すべてのリストが表示されます。

⚙ (クイック設定)

クイック設定にアクセスします。

- ⚙ (クイック設定) ボタンを長押しすると[詳細設定]メニューが表示されます。

カラーボタン

一部のメニューの特定の機能にアクセスします。

(●: 赤、●: 緑、●: 黄、●: 青)

コントロールボタン (▶, ||)

SIMPLINKがサポートしているプレミアムコンテンツ、ビデオコンテンツ、デバイスにアクセスします。

RATIO

ボタンを押すたびに画面のアスペクト比が変わります。

*: ボタンを使用するには、3秒以上長押ししてください。

マジックリモコンの登録方法

マジックリモコンを使用するには、まずリモコンをプロジェクターに登録する必要があります。

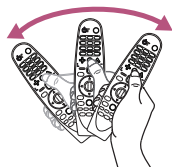
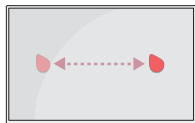
- 1 マジックリモコンに電池を入れ、プロジェクターの電源を入れます。
 - 2 マジックリモコンをプロジェクターに向け、リモコンの ⑩ ホイール (OK)を押します。
- マジックリモコンが正しく登録できなかった場合は、プロジェクターの電源を一度オフにしてから再度オンにして、再度お試しください。

マジックリモコンを再登録するには

- 1  ボタンと **BACK** ボタンを5秒間同時に押して、プロジェクターとマジックリモコンのペアリングを解除します。
 - 2 プロジェクターに向けて ⑩ ホイール (OK) ボタンを押して、マジックリモコンを登録します。
-  **LINK** ボタンを長押しすると、マジックリモコンの登録解除と再登録とが一度に行えます。

マジックリモコンの使用

- マジックリモコンを左右に軽く振るか、、
(入力) ボタンを押すと、画面上にポインターが表示されます。
- ポインターを一定時間使用しない場合、またはマジックリモコンを平らな面の上に置いた場合は、ポインターが消えます。
- ポインターが滑らかに動作しない場合は、ポインターを画面の端に移動させることでリセットできます。
- マジックリモコンは一般的なリモコンに比べて多機能なため、電池を多く消費します。



注意

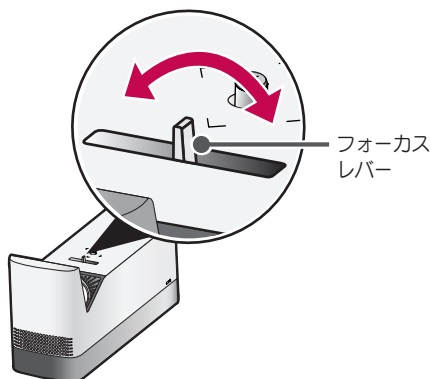
- このリモコンは、指定された受信範囲内（10m）でご使用ください。デバイスを受信範囲外で使用した場合や、受信範囲内に障害物がある場合、通信障害が起きる可能性があります。
- 付属品によっては通信障害が起きる可能性があります。電子レンジやワイヤレスLANなどの機器は、マジックリモコンと同じ周波数帯域（2.4GHz）で動作しています。これにより通信障害が起きる可能性があります。
- ワイヤレスルーター（アクセスポイント）がプロジェクターから1m以内の距離にある場合は、マジックリモコンが正しく機能しないことがあります。ワイヤレスルーターは、プロジェクターから1m以上離してください。
- 電池は分解および加熱しないでください。
- 電池は落下させないでください。電池には強い衝撃を与えないでください。
- 電池を誤った向きで挿入すると、爆発や液漏れの原因となるおそれがあります。

プロジェクターを使用する

プロジェクターの視聴

映像の焦点を調整する

映像が画面に表示されたら、フォーカス(焦点)を映像が鮮明に表示されるよう調節します。



- 映像のフォーカスを調整するには、フォーカスレバーを左右に動かして、画面の中央上部にピントが合うように調節します。画面左右のバランスが取れていると最適なピントになります。
- 画面の上下の位置を調節する場合は、プロジェクター底面にある調節足の高さを調整します。

プロジェクターを起動する

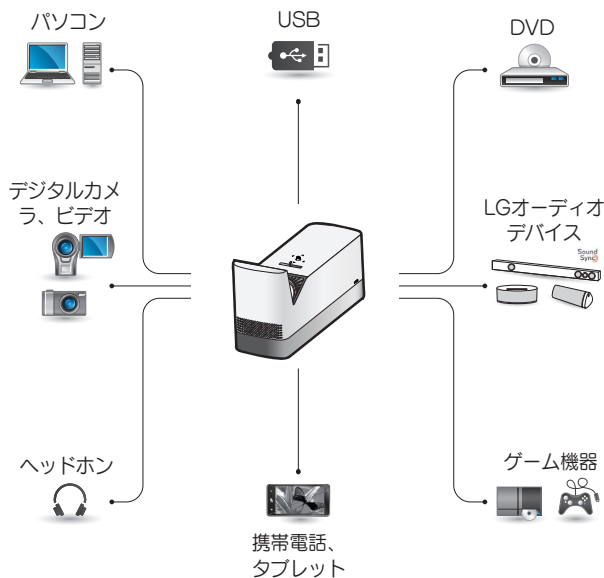
- 1 スタンバイモードの状態、（電源）ボタンを押してプロジェクターの電源をオンにします。
- 2 （入力）→ [すべての入力]の順に選択して、使用する入力信号を選択します。
- 3 映像表示中に、次のボタンでプロジェクターを操作します。

ボタン	説明
  P	前のページまたは次のページに移動します。
  	音量を調節します。
 （消音ボタン）	プロジェクターのサウンドをミュートします。

- 4 プロジェクターの電源をオフにするには、（電源）ボタンを押します。

デバイスを接続する

さまざまな外部デバイスをプロジェクターの端子に接続できます。



HDMI - 32ページ
 ヘッドフォン - 35ページ
 デジタルアンプ - 36ページ

HDレシーバー、DVD、外部デバイスへの接続

HDレシーバー、DVD、外部デバイスをプロジェクターに接続し、接続した入力モードを選択します。

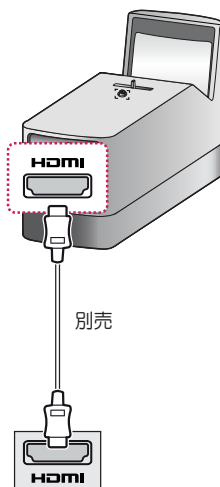
HDMI接続

-  (入力) → すべての入力 → HDMI1/HDMI2

リモコンの  (入力) を押し、[HDMI] を選択します。

HDMIケーブルでデジタル接続して、高品質な映像とサウンドをお楽しみいただけます。

HDMIケーブルで、プロジェクターの **HDMI** (HDMI入力端子) と、接続デバイスのHDMI出力端子を接続します。



ヒント

ARC (オーディオリターンチャンネル)

- SIMPLINKとARCをサポートする外部オーディオデバイスを接続する際は、**HDMI1 ARC** ポートを使用する必要があります。
- SIMPLINKとARCをサポートする外部オーディオデバイスとSIMPLINKを高速HDMI®ケーブルで接続する場合は、その他のオーディオケーブルは不要です。

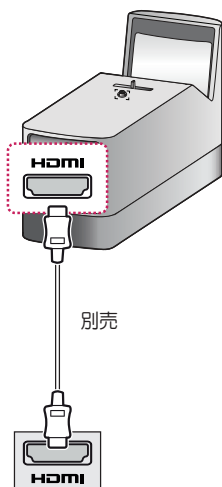
PCへの接続

プロジェクターはプラグアンドプレイに対応しています。PCは自動的にプロジェクターを認識するので、ドライバーをインストールする必要はありません。

HDMI接続

-  (入力) → すべての入力 → HDMI1/HDMI2
リモコンの  (入力) を押して、[HDMI] を選択します。

HDMIケーブルで、プロジェクターの **HDMI** (HDMI入力端子) とPCのHDMI出力端子を接続します。映像信号と音声信号両方が伝送されます。



ノートPCの接続

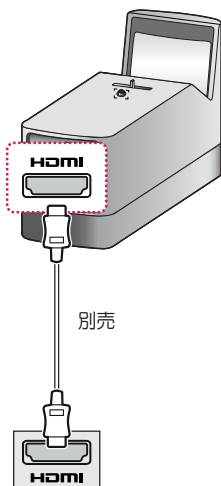
プロジェクターをノートPCに接続して、さまざまな機能を使用できます。

HDMI接続

-  (入力) → すべての入力 → HDMI1/HDMI2

リモコンの  (入力) を押して、[HDMI] を選択します。

HDMIケーブルで、プロジェクターの **HDMI** (HDMI入力端子) とノートPCのHDMI出力端子を接続します。映像信号と音声信号両方が伝送されます。

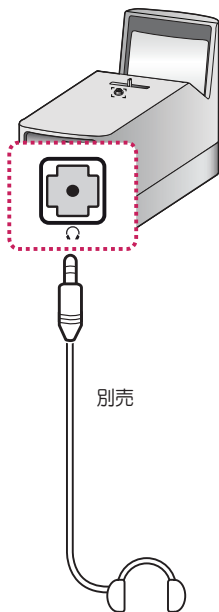


下表は出力切り替えの例です。詳細については、お使いのPCの取扱説明書の「外部出力」、「外部モニターへの接続」などの項を参照してください。

ブランド	出力切り替え
NEC	[Fn]+[F3]
Panasonic	[Fn]+[F3]
TOSHIBA	[Fn]+[F5]
IBM	[Fn]+[F7]
Sony	[Fn]+[F7]
Fujitsu	[Fn]+[F10]
LG	[Fn]+[F7]
SAMSUNG	[Fn]+[F4]
Macintosh	起動後コントロールパネルを調整してミラーリングを有効化します。

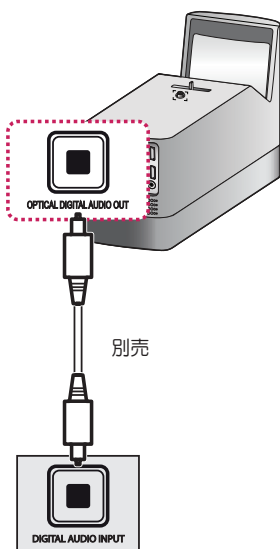
ヘッドホンの接続

ヘッドホンでオーディオを聴くことができます。



デジタルアンプの接続

光デジタルケーブルで、デジタルアンプの光デジタル音声入力端子とプロジェクターのOPTICAL DIGITAL AUDIO OUTを接続します。デジタルコンバーター付きのアンプの出力は、オーディオフォーマットの設定が必要です。ホームシアターへの接続にHDMIケーブルを使用する際や、光出力を外部オーディオデバイスに接続する場合は、[スピーカー設定]を[外部スピーカー(光デジタル音声/HDMI ARC)]に設定します。プロジェクター、ホームシアター、外部オーディオデバイスのスピーカーが同時に作動しているときは、エコーが発生します。



✓ ヒント

- 接続するオーディオデバイスの設定は、オーディオデバイスの取扱説明書を参照してください。
- 本機を別のデバイスに接続する際は、すべてのデバイスの電源をオフにして、電源コードを抜いてください。
- 本製品のオーディオ出力は広帯域のオーディオ帯域幅を持つため、レシーバーの音量を予め適切に調整する必要があります。予期しない高い周波数でスピーカーが損傷することがあります。
- プロジェクターのOPTICAL DIGITAL AUDIO OUT端子をデジタルアンプの光デジタル音声入力端子に接続し、同時にプロジェクターのAV IN端子をデジタルアンプのアナログオーディオ出力端子に接続している場合、閉回路により音の揺れが生じることがあります。これを避けるには、2つのうちのいずれかの接続を取り外してください。（これはホームシアターのデバイスにも当てはまります）

メンテナンス

常に快適な映像表示を保つために、プロジェクターを定期的にメンテナンスしてください。

お手入れ

レンズのお手入れ

レンズの表面にほこりや汚れが付着している場合は、レンズを清掃してください。

エアスプレーか、清掃用クロスでレンズを拭いてください。

ほこりや汚れを落とすには、エアスプレーを使用するか、綿棒またはやわらかい布に少量の洗淨液をしみ込ませてレンズを軽く拭いてください。

洗淨液のスプレーをレンズに直接噴射しないでください。洗淨液がレンズ内に入るおそれがあります。

筐体のお手入れ

筐体のお手入れをするときは、電源コードを抜いてください。

ほこりや汚れを落とすには、研磨剤が含まれていない、糸くずの出ない乾いた布でやさしく拭いてください。

アルコール、ベンゼン、シンナーなどの高揮発性溶剤は使用しないでください。

トラブルシューティング

以下の内容を確認してください。以下の内容にしたがって操作しても症状が改善されない場合はLG Electronics Japanカスタマーセンターにご相談ください。

全般

問題	解決法
プロジェクターの電源を入れてから映像が完全に表示されるまで時間がかかる。	プロジェクター起動直後にノイズが発生することがあります。起動後しばらくするとノイズはなくなります。

画質

問題	解決法
水平または垂直に揺れる線、および網目模様が瞬間的に表示される。	強い電氣的な干渉がある場合、このような問題が発生する可能性があります。携帯電話や電動工具などの電子機器、およびその他の家電製品の電源はオフにしてください。
HDMI®接続しているとき、表示されない、または映像が不鮮明。	- HDMI®ケーブルの仕様を確認してください。HDMI認証されていないHDMI®ケーブルを使用すると、適切に表示されないことがあります。 - すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。しっかりと接続されていないと、映像が適切に表示されないことがあります。
USBストレージデバイスで動作しない。	USBストレージデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。

サウンド

問題	解決法
映像が表示されているのに、音声が届かない。	- プロジェクターの音声出力の設定が正しいか確認してください。 - PCとアナログ接続をしている場合、DVI変換を使用して接続している場合、音声データは伝送されません。別途音声ケーブルを接続してください。
HDMI/USBに接続しているとき、音声が届かない。	- ハイスピードHDMI®ケーブルを使用していることを確認してください。 - USBストレージデバイスおよびケーブルがバージョン2.0以上であることを確認してください。 - 通常の音楽（*mp3）ファイルのみを使用してください。

PC接続の問題

問題	解決法
PC接続時に映像が表示されない。	- PCとプロジェクターがしっかりと接続されていることを確認してください。 - リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにしてください。 - プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動してください。 - 解像度がPC入力用に正しく設定されているか確認してください。 - HDMIケーブルを再度接続してください。
PCとHDMI接続したとき、音声が届かない。	- グラフィックカードがHDMI音声出力に対応しているか確認してください（DVI変換で接続している際は、別の音声ケーブルを接続する必要があります）。 - PCの音量が適切か確認してください。
PCに接続すると、表示が部分的に欠損したり、歪んだりする。	PC入力をサポートするように解像度を設定してください（それでも解決しない場合は、PCを再起動してください）。

マイメディアでのムービーの再生に関する問題

問題	解決法
動画リストのファイルを視聴できない。	• USBストレージデバイスのファイルがPCで読み取れるか確認してください。 • ファイル拡張子がサポートされているか確認してください。
「このファイルは無効です」というメッセージが表示されるか、音声が聞こえるのに映像表示が正常でない。	• PCの動作再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルが破損していないか確認します）。 • 解像度がサポートされているか確認してください。 • ビデオと音声のコーデックがサポートされていることを確認してください。 • フレームレートがサポートされていることを確認してください。
「音声がサポートされていません」というメッセージが表示されるか、映像表示が正常なのに音声が正常でない。	• PCの動作再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルの損傷を確認します）。 • 音声コーデックがPCでサポートされているかを確認してください。 • ビットレートまたはサンプリングレートがサポートされていることを確認してください。
字幕が表示されない。	• PCの動作再生ソフトウェアでファイルが正常に再生されることを確認してください（ファイルが破損していないか確認します）。 • ビデオファイルと字幕ファイルのファイル名が一致しているか確認してください。 • ビデオファイルと字幕ファイルが同一のフォルダーにあることを確認してください。 • 字幕ファイルの形式がサポートされていることを確認してください。 • 字幕の言語がサポートされていることを確認してください（字幕ファイルを[メモ帳]で開いて言語を確認できます）。

- イラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- サポートに関する情報は、別紙の「プロジェクター 対応窓口のご案内」または、以下の方法でご参照ください。
 SETTINGSボタンを押してメインメニューを開き、カスタマーサポート（赤のカラーキー）→ 製品・サービス情報

仕様

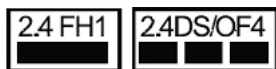
モデル	HF85JG (HF85JG-JP)	
解像度 (ピクセル)	1920 (横) × 1080 (縦)	
アスペクト比	16:9 (横 : 縦)	
パネルサイズ (mm)	11.938	
映写距離 (mm) (画面サイズ)	447~573 (2286~3048)	
上向き映写の比率	125%	
消費電力	140W	
AC-DCアダプター	メーカー: Lien Chang モデル: LCAP31	
	19V  7.37A (アダプター入力100 - 240V @ 50/60 Hz)	
音声出力	3 W + 3 W	
高さ (mm)	189 (脚なし) 、193 (脚あり)	
幅 (mm)	118	
奥行 (mm)	353	
重量 (kg)	3.0	
USBデバイス	5V、0.5A (最大)	
使用環境	温度	
	動作	0℃~40℃
	保管	-20℃~60℃
	相対湿度	
	動作	0%~80%
	保管	0%~85%

- 取扱説明書に記載された電源のみを使用してください。
- 本取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の為、事前の通知なしに変更されることがあります。

Wireless モジュール 仕様

Wireless モジュール (LGSBW41)仕様			
Wireless LAN		Bluetooth	
動作環境	IEEE 802.11a/b/g/n	動作環境	Bluetooth
使用周波数	2400 - 2483.5MHz 5180MHz、5190MHz、 5200MHz、5220MHz、 5230MHz、5240MHz	使用周波数	2400 - 2483.5MHz
無線出力	802.11a: 13dBm 以下 802.11b: 15dBm 以下 802.11g: 14dBm 以下 802.11n - 2.4GHz: 16dBm 以下 802.11n - 5GHz: 16dBm 以下	無線出力	10dBm 以下

- 電波法により5 GHz帯は屋内使用に限ります。



1 Wi-Fi

この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用し、与干渉距離は40mです。

2 For Bluetooth

この表示のある無線機器は、2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

<本製品の使用上の注意事項>

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、別紙「プロジェクター 対応窓口のご案内」記載のカスタマーセンターまでご相談ください。

サポートされているHDMIモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480p	31.46	59.94
	31.50	60.00
720 x 480p	31.47	59.94
	31.50	60.00
1280 x 720p	44.96	59.94
	45.00	60.00
1920 x 1080i	33.72	59.94
	33.75	60.00
1920 x 1080p	26.97	23.97
	27.00	24.00
	33.71	29.97
	33.75	30.00
	67.43	59.94
	67.50	60.00

サポートされるHDMI (PC) モード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 350	31.46	70.09
720 x 400	31.46	70.08
640 x 480	31.46	59.94
800 x 600	37.87	60.31
1024 x 768	48.36	60.00
1152 x 864	54.34	60.05
1280 x 1024	63.98	60.02
1360 x 768	47.71	60.01
1920 x 1080	67.5	60.00

- プロジェクターに無効な信号が入力された場合は、画面に正常に表示されないか、[信号なし]または[無効なフォーマット]というメッセージが表示されます。
- プロジェクターは、DDC1/2Bタイプをプラグアンドプレイ機能（PCモニターの自動認識）としてサポートしています。
- PCモードで画質を最適にするには、1920 x 1080をお勧めします。

オープンソースソフトウェア通知情報

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、<http://opensource.lge.com>をご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。

また、LGエレクトロニクスから有料にてCD-ROMのオープンソースコードを提供しております。料金にはメディアの代金、配送料、手数料などを含みます。ご利用の際は、opensource@lge.comまでメールでお問い合わせください。

本サービスは製品の最後の発送から3年間有効です。本情報を受け取られた方はどなたでも本サービスをご利用いただけます。

記号

～	交流（AC）を表します。
＝	直流（DC）を表します。
回	クラスIIの装置を表します。
⏻	スタンバイを表します。
⏻	「オン」（電源）を表します。
⚡	危険な電圧を表します。



LG WebOS プロジェクター について

本書で使用されるイラストはイメージです。実際のプロジェクターと異なる場合があります。

実際のプロジェクターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、本書に記載されている内容と多少異なる場合があります。

目次

LG WebOSプロジェクターについて	4	各種コンテンツの使用方法	17
ホームのチュートリアル	4	コンテンツの検索	17
- LG WebOSプロジェクターのホーム機能の使用	4	- 検索	17
ネットワーク設定	8	- コンテンツの検索	17
- ネットワーク設定	8	他のデバイスファイルの再生 18	
プロジェクターの操作方法	10	写真と動画	18
SIMPLINK (HDMI-CEC)	10	- 写真および動画の表示	18
- SIMPLINKの使用	10	- 写真プレーヤー	19
LG TV Plusアプリの使用	12	- ビデオプレーヤー	21
マジックモバイル接続	14	- サポートされている動画ファイル	23
- マジックモバイル接続の使用	14	- 動画の再生に関する注意事項	25
キーボードとマウスの使用	15	音楽	26
- USB有線/無線マウスの使用	15	- 音楽の再生	26
- USB有線/無線キーボードの使用	15	- 音楽プレーヤーの使用	27
ゲームパッドの使用	16	ファイルビューアー	29
		- ファイルの表示	29
		- ファイルビューアー画面	30
		USBの接続	32
		- USBストレージデバイスの使用上のヒント	33
		スマートフォンの共有	34
		- スマートフォンのコンテンツの共有	34
		スマートフォンの表示	36
		- モバイルデバイスの画面をプロジェクターに表示するには	36

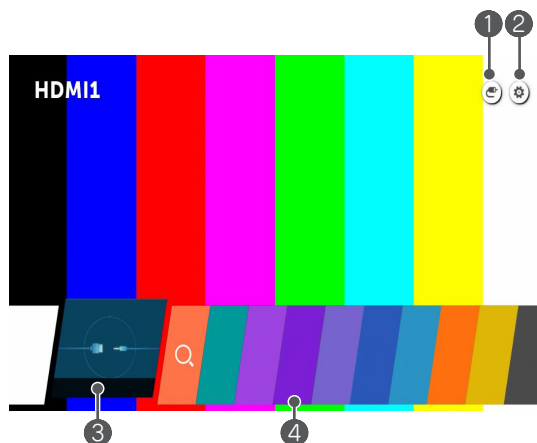
PCの共有	37	トラブルシューティング	70
– コンテンツ共有とは	37	異常動作	70
PCの表示	40	画面の問題	71
– PCの画面をプロジェクタ		音声の問題	72
– ーに表示するには	40	PC接続の問題	73
スマートプロジェクター		写真&動画および動画の再生	
の利点	41	の問題	73
[マイスタート]の使用	41	ネットワーク接続の問題	75
インターネットの利用	43	LGアカウントの問題	76
– ウェブブラウザの使用	43	コンテンツの問題	77
お知らせ	46	インターネットブラウザの	
– お知らせの使用	46	問題	77
設定一覧のツアー	47		
クイック設定	47		
– 設定機能をすばやく使用			
– するには	47		
映像設定	48		
音声設定	55		
ネットワーク	60		
機器設定	62		
[ロック]設定	68		
ユーザー補助	69		

LG WebOSプロジェクターについて

ホームのチュートリアル

LG WebOSプロジェクターのホーム機能の使用

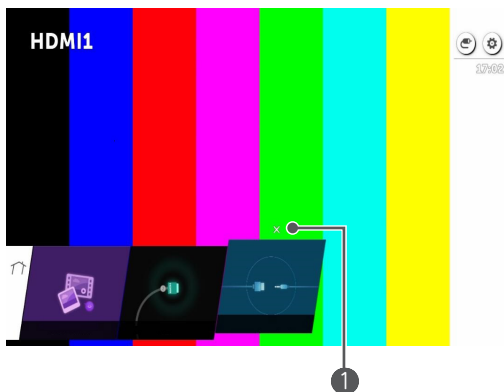
リモコンの  ボタンを押すと、ホーム画面が開きます。よく使用するアプリが1つの画面上に表示されるので、いつでも必要なアプリを使用できます。



	説明
①	別の入力に切り替えるか、設定を変更できます。
②	プロジェクターの設定を簡単に変更できます。 詳細なセットアップを行うには、  を選択します。
③	最近使用したアプリが表示されます。最近使用したアプリの一覧を開くには、この項目を選択してから、  [ホイール (OK)]または  ボタンを長押しします。最近使用したすべてのアプリが一覧で表示されます。
④	プロジェクターにインストールしたすべてのアプリを実行、移動、削除できます。

最新リストの使用

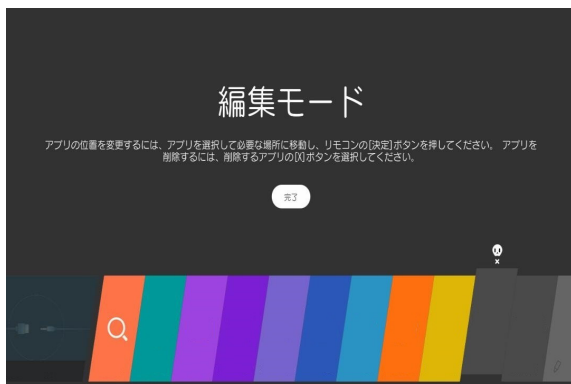
最近使用したアプリの一覧を表示するには、リモコンの🏠ボタンを長押しするか、ホーム画面で最近使用した項目を長押しします。最近使用したすべてのアプリを実行または終了できます。



	説明
①	アプリを終了します。

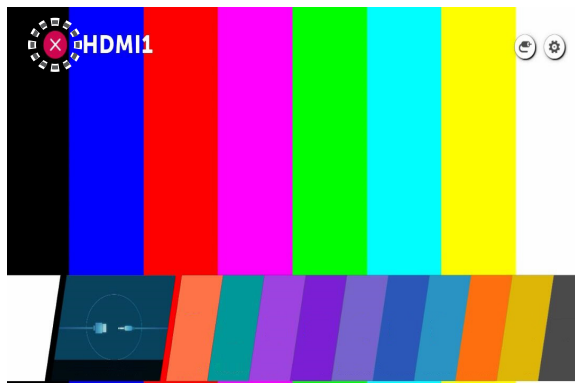
アプリの管理

プロジェクターにインストールされているすべてのアプリ一覧の表示、位置の変更、削除ができます。



- 1 編集するアプリを選択して、リモコンの ⑪ [ホイール(OK)]または **OK** ボタンを長押しします。アプリ編集モードが有効になります。
- 2 アプリを目的の位置に移動するには、その位置に移動して、⑪ [ホイール(OK)]または **OK** ボタンを押します。アプリを削除するには、アプリの上に表示される **X** を選択します。
 - 必要な数だけアプリを移動および削除してから、編集モードを終了します。
 - リモコンの **<** **>** ボタンを使用してもアプリを移動できます。
- 3 編集が完了したら、[完了]をクリックして、アプリ編集モードを終了します。
 - 一部のアプリは編集できません。

現在の機能の停止



- 1 リモコンの  ボタンを押します。
- 2 リモコンで画面左上隅にあるアプリケーション名を選択すると、
 [閉じる]アイコンが表示されます。
- 3 アプリケーション名の横に表示される  [閉じる]アイコンを選択すると、使用中の機能が終了します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定

ネットワークの設定を行う場合、オンラインコンテンツやアプリケーションなどのさまざまなサービスを使用できます。

有線ネットワークの設定

- 1 プロジェクターのLANポートとルーターをLANケーブルで接続します。ルーターを前もってインターネットに接続しておく必要があります。
- 2 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押して、 → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]を選択します。これで、有線ネットワーク接続が開始されます。
- ルーターがDHCPに対応している場合、プロジェクターをLANケーブルでネットワークに接続すると、プロジェクターは自動的にネットワークに接続されます。

無線ネットワークの設定

- 1 インターネットに接続されたルーターの電源をオンにします。
- 2 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押して、 → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続]を選択します。これで、無線ネットワーク接続が開始されます。
- 3 ネットワーク検索が完了すると、接続に使用できるネットワークの一覧が表示されます。
- 4 接続するネットワークを選択します。ワイヤレスルーターがパスワードで保護されている場合は、ルーターに設定されたパスワードを入力します。

ネットワークの設定の警告

- RJ45コネクタ、10Base-Tまたは100Base-TX対応、カテゴリ5以上のLANケーブルを使用します。
- モデムをリセットすると、一部のネットワーク接続の問題が解消される場合があります。プロジェクターの電源を一度オフにし、一度ケーブルを抜いて、再度接続し直し、プロジェクターの電源をオンにすると問題が解決します。
- LG Electronicsは、ネットワーク接続の問題、ネットワーク接続によって生じた不具合、故障、エラーについては保証の対象外です。
- ネットワーク設定やインターネットサービスプロバイダの仕様によっては、ネットワーク接続が正しく機能しない場合があります。
- DSLサービスにはDSLモデムを使用する必要があり、ケーブルサービスには、ケーブルモデムを使用する必要があります。限られた数のネットワーク接続しか利用できない場合があるため、インターネットサービスプロバイダとの契約によっては、プロジェクターのネットワーク設定を使用できないことがあります（契約によって、回線あたり1台の機器しか使用が許可されていない場合、すでに接続されているPCしか使用できません）。
- 無線ネットワークは2.4 GHzの周波数を使用している他の機器（モバイルデバイス、Bluetoothデバイス、電子レンジ）により干渉を受けることがあります。また、5GHzの周波数を使用しているときも干渉が起こることはあります。
- 無線通信の環境や無線機器とプロジェクターの配置によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- ローカルホームネットワーク全体をオフにしていない場合、一部の機器で過剰なトラフィックが発生することがあります。
- ルーター（アクセスポイント）が無線接続に対応している必要があります。またルーターの無線接続機能を有効にする必要があります。サービスプロバイダが無線接続をサポートしているかは、サービスプロバイダに問い合わせてください。
- SSIDとルーターのセキュリティ設定を確認してください。SSIDとルーターのセキュリティ設定については、ルーターの取扱説明書を参照してください。
- ネットワーク機器（有線/無線回線共有、ハブ）が正しく設定されていない場合、プロジェクターの動作が遅くなったり、正しく動作しない場合があります。ネットワーク機器の取扱説明書を参照の上、ネットワークを正しく接続、設定してください。
- 接続方法は、ルーターのメーカーによって異なる場合があります。

プロジェクターの操作方法

SIMPLINK (HDMI-CEC)

SIMPLINKの使用

HDMI経由で接続したさまざまなマルチメディア機器を、プロジェクターのリモコンで操作することができます。

- 1 HDMIケーブルでSIMPLINK対応のHDMI出力端子とプロジェクターのHDMI IN端子と接続します。
 - 2 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押して、 → [機器設定] → [SIMPLINK (HDMI-CEC)]を選択します。
 - 3 [SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オン]に設定します。
 - 4 [自動電源]設定を[オン]または[オフ]に設定します ([自動電源]を[オン]に設定した場合、SIMPLINKに接続された機器の電源をオンにすると、プロジェクターの電源もオンになります。プロジェクターの電源をオフにすると、機器の電源もオフになります)。
 - 5 接続された機器の電源をオンにします。プロジェクターが機器に自動的に接続すると、入力が切り替わります。機器がプロジェクターに自動的に接続されない場合は、 (入力) ボタンをクリックします。
- この機能は、 SIMPLINK ロゴが付いた機器でのみ機能します。外部機器のSIMPLINKロゴを確認してください。機器が必要な仕様を満たしていない場合、機器の使用で問題が発生することがあります。
 - SIMPLINKを使用するには、CEC (Consumer Electronics Control) 機能対応高速HDMI®ケーブルが必要です。高速HDMI®ケーブルのピン13が、機器間のデータ転送に使用されます。
 - HDMIケーブルで接続した外部オーディオ機器に音声を出力する場合は、[SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オン]に設定します。

サポートされているSIMPLINK機能

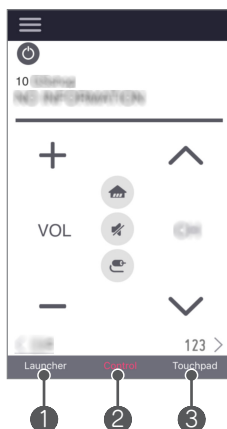
- インスタント再生
マルチメディア機器を起動すると、何も操作しなくても、機器のコンテンツをプロジェクターですぐに視聴できます。
- プロジェクターのリモコンを使用した機器の操作
プロジェクターのリモコンでマルチメディア機器を操作して、コンテンツを視聴できます。
- 主電源オフ
[SIMPLINK (HDMI-CEC)]設定で[自動電源]を[オン]に設定した場合、プロジェクターの電源をオフにすると、SIMPLINKでプロジェクターに接続されている機器の電源もオフになります。同様に、SIMPLINKでプロジェクターに接続されている機器の電源をオフにすると、プロジェクターの電源もオフになります。
 - この機能は特定の機器でのみ使用可能です。
- 主電源オン
[SIMPLINK (HDMI-CEC)]設定で[自動電源]を[オン]に設定した場合、SIMPLINKに接続された機器の電源をオンにすると、プロジェクターの電源もオンになります。
 - [SIMPLINK (HDMI-CEC)]を[オフ]に設定した場合、[自動電源]を[オン]に設定することはできません。

LG TV Plusアプリの使用

モバイルデバイスにインストールしたアプリを使用して、プロジェクターの各種機能を操作することができます。

- テキスト入力機能がサポートされているので、テキストを簡単に入力できます（一部の画面には、テキストを入力できません）
- アプリでタッチパッドを使用して、プロジェクターのマジックリモコンのポインターやマウスポインターを操作できます。

- 1 各モバイルデバイスのOS(オペレーティングシステム)に応じて、Apple App Storeまたは Google Play ストアからLG TV Plusアプリをダウンロードします。
- 2 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押して、 → [ネットワーク] を選択します。
- 3 [LG Connect Apps]を[オン]に設定します。
- 4 プロジェクターとモバイルデバイスを同じWi-Fiネットワークに接続します。
- 5 スマートデバイスでLG TV Plusアプリを起動します。
- 6 [開始]ボタンをタップして、モバイルデバイスに接続可能なプロジェクターをスキャンします。
- 7 目的のプロジェクターを検索結果の一覧から選択します。プロジェクター画面にPINコードが表示されます。
- 8 LG TV PlusアプリでPINコードを入力して、モバイルデバイスとプロジェクターをペアリングします。
- 9 モバイルデバイスの画面の各ボタンをタップして、プロジェクターを操作できるようになります。



	説明
①	プロジェクターにインストールされた各種アプリを使用できます。
②	音量などを調整できます。
③	プロジェクターの画面のポインターを、マジックリモコンやマウスを使用した場合と同じように移動できます。

- アプリの画面と機能は事前の通知なしに変更されることがあります。
- この機能はネットワーク接続が必要です。
- モデル、または地域によっては、一部の機能やサービスが使用できない場合があります。

マジックモバイル接続

マジックモバイル接続の使用

マジックモバイル接続を使用すると、モバイルデバイスに保存されているコンテンツを共有してプロジェクターで視聴することができます。

- Androidモバイルデバイスは、Android 5.0(Lollipop)またはそれ以降のAndroidでの使用をお勧めします。

マジックモバイル接続を使用したモバイルデバイスの接続

次のガイドに従って接続を設定します。

- 1 モバイルデバイスに[LG TV Plus]アプリをインストールします。
 - 2 プロジェクターとモバイルデバイスを同じネットワークに接続します。
 - 3 [LG TV Plus]アプリを実行し、画面に表示される指示に従って、プロジェクターへの接続を設定します。
 - 4  ボタンを押すと、接続されているモバイルデバイスの一覧が画面の右側に表示されます。
 - 5 接続するモバイルデバイスを選択します。
- Androidモバイルデバイスは、初回接続が確立された後、ネットワークに接続されると自動的に再接続を試みます。

マジックモバイル接続を使用したコンテンツの共有

モバイルデバイスに保存されているコンテンツを共有してプロジェクターで視聴することができます。

- 1 モバイルデバイスにインストールした[LG TV Plus]アプリを実行します。
 - 2 プロジェクターで目的のコンテンツを設定します。
- [LG TV Plus]アプリにメンバーとしてログインしているかによって、一部の機能が使用できない場合があります。
 - サポートされる機能はご利用の国によって異なります。
 - サポートされる機能は、モバイルデバイスのOSのバージョンによって異なります。

キーボードとマウスの使用

USB有線/無線マウスの使用

マウスをUSB端子に接続します。マウスでプロジェクター画面上のポインターを移動したり、目的のメニューを選択できます。

- モデル、または地域によっては、一部の機能やサービスが使用できない場合があります。

マウスの左ボタン

マジックリモコンのOKボタン

マウスのホイールボタン

マジックリモコンのホイールボタン

- マウスの右ボタンと特殊なボタンは機能しません。
- 無線USBマウス/キーボードの使用感度は、距離や無線通信の状況によって影響を受ける可能性があります。

USB有線/無線キーボードの使用

キーボードをUSB端子に接続します。接続したキーボードでテキストを入力できます。

- 一部の画面には、テキストを入力できません。
- LG製プロジェクターとの互換性について検査済みの製品を使用することをお勧めします。
 - Logicool® K360、Logicool® K400、Logicool® K750、LG Electronics MKS-1200
- 言語切り替えキー、または右側のAltキーを押すと、入力言語を変更できます。また、Ctrlキーとスペースキーを同時に押しても変更できます。
- 無線USBキーボードの使用は、使用感度は、距離や無線の状況によって影響を受ける可能性があります。
- 文字入力領域にテキストを入力するには、プロジェクター画面上のソフトウェアキーボードまたはUSBキーボードを使用してください。

ゲームパッドの使用

ゲームパッドが必要なゲームの場合は、ゲームパッドをプロジェクターのUSB端子に接続します。

- LG製プロジェクターとの互換性について検査済みのゲームパッドを使用することをお勧めします。
 - Logicool® F310、Logicool® F510、Logicool® F710
、Logicool® Rumblepad™ 2、Logicool® Cordless Rumblepad™ 2、Logicool® Dual Action™ゲームパッド、Microsoft Xbox 360™コントローラー（有線）、ソニーPlaystation®3 コントローラー

各種コンテンツの使用法

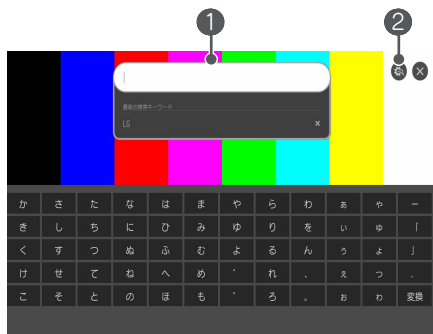
コンテンツの検索

検索

[検索]を使用して、さまざまなコンテンツと情報を検索して使用できます。挿入したUSBストレージデバイス内の画像、動画、音楽を含むファイルの検索が可能です。

コンテンツの検索

- 1 リモコンの 🔍 (検索) ボタンを押して、[検索]を実行します。
- 2 目的の検索用語を入力して、さまざまなコンテンツや情報を検索します。



	説明
①	目的の検索用語を入力します。
②	[検索]で利用できる各種機能の設定を変更します。

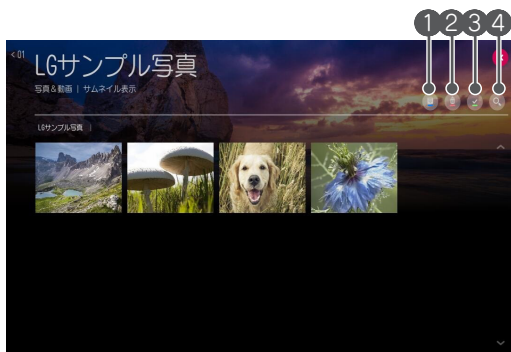
他のデバイスファイルの再生

写真と動画

写真および動画の表示

[写真&動画]アプリを使用して、写真や動画を再生できます。

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
- 2 [写真&動画]アプリケーションを起動します。
- 3 目的のストレージデバイスを選択します。
- 4 目的の写真または動画を選択して表示します。



	説明
①	目的のコンテンツのタイプと表示方法を選択します。
②	目的のコンテンツを選択して削除します。 (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません。)
③	再生するコンテンツを選択します。最初に選択したタイプと同じタイプのコンテンツしか選択できません。
④	[検索]を起動します。

- コンテンツファイルの総数が40,000を超えると、特定のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

写真プレーヤー

[写真&動画]アプリで写真を選択すると、写真プレーヤーが実行されます。保存した写真を表示できます。



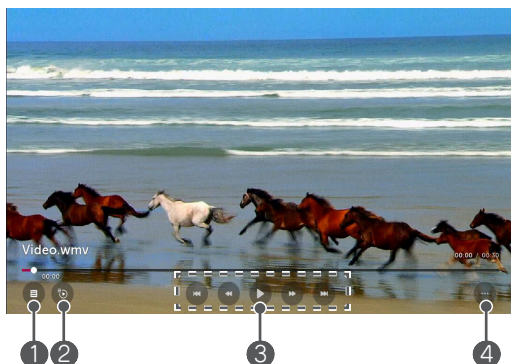
	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	音楽プレーヤーを実行して、バックグラウンドミュージックを再生できます。
③	写真を拡大/縮小できます。
④	スライドショーが開始されます。
⑤	写真を回転させます。
⑥	写真のサイズを設定したり、スライドショーの速度と効果を変更できます。

サポートされている写真ファイル

ファイル タイプ	形式	解像度
.jpeg .jpg .jpe	JPEG	最小：64 x 64 最大 標準タイプ：15360 (W) x8640 (H) プログレッシブタイプ：1920 (W) x1440 (H)
.png	PNG	最小：64 x 64 最大：5760 (W) x5760 (H)
.bmp	BMP	最小：64 x 64 最大：1920 (W) x1080 (H)

ビデオプレーヤー

[写真&動画]アプリで動画を選択すると、ビデオプレーヤーが実行されます。保存した動画を再生できます。



	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	動画を視聴しながら、プレイリストを表示して他のコンテンツを選択できます。
③	基本的な動画再生機能を操作できます。
④	動画再生オプションを設定ができます。

動画再生オプション



	説明
①	字幕の表示を設定します。
②	複数の音声がある時に選択します。
③	再生の再開をオンにすると、最後に視聴していた時点から続けて再生されます。
④	連続再生を設定します。 連続再生をオンにすると動画の再生が終わった後に、続けて次の動画を再生します。
⑤	基本操作画面に戻ります。

サポートされている動画ファイル

最大データ転送速度：

- フルHD動画

H.264 1920 x 1080@60P BP/MP/HP@L4.2 40 Mbps

HEVC 1920 x 1080@60P MP@L4.1、Main10 Profile@L4.1 40 Mbps

サポートされている外部字幕：

.smi、.srt、*.sub (MicroDVD、SubViewer 1.0/2.0)

、*.ass、*.ssa、*.txt (TMPlayer) 、*.psb (PowerDivX)

、*.dcs (DLP Cinema)

サポートされている埋め込み字幕形式：

- Matroska (*.mkv) : Sub Station Alpha (SSA) 、Advanced Sub Station Alpha (ASS) 、SRT
- MP4 (*.mp4) : タイミングが設定されたテキスト

サポートされている動画コーデック

拡張子	コーデック	
.asf .wmv	動画	VC-1アドバンスドプロファイル（WMVAを除く）、VC-1シンプルおよびメインプロファイル
	音声	WMA Standard（WMA v1/WMA音声を除く）
.avi	動画	Xvid（3ワーブポイントGMCを除く）、H.264/AVC、Motion Jpeg、MPEG-4
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III（MP3）、Dolby Digital、LPCM、ADPCM、DTS
.mp4 .m4v .mov	動画	H.264/AVC、MPEG-4、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、MPEG-1 Layer III（MP3）
.3gp .3g2	動画	H.264/AVC、MPEG-4
	音声	AAC、AMR-NB、AMR-WB
.mkv	動画	MPEG-2、MPEG-4、H.264/AVC、VP8、VP9、HEVC
	音声	Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM、DTS、MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III（MP3）
.ts .trp .tp .mts	動画	H.264/AVC、MPEG-2、HEVC
	音声	MPEG-1 Layer I/II、MPEG-1 Layer III（MP3）、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、AAC、PCM
.mpg .mpeg .dat	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	MPEG-1 Layer I、II、MPEG-1 Layer III（MP3）
.vob	動画	MPEG-1、MPEG-2
	音声	Dolby Digital、MPEG-1 Layer I、II、DVD-LPCM

動画の再生に関する注意事項

- 作成された字幕ファイルで、正常に動作しない場合があります。
- 動画ファイルと字幕ファイルは同じファイル名で同じフォルダに配置されている必要があります。
- 動画コンテンツを再生する時、字幕の表示をサポートしないNAS(Network Attached Storage)装置もあります。NAS装置の取扱説明書をご確認ください。
- GMC(Global Motion Compensation)、Qpel(Quarterpel Motion Estimation)を含む動画コンテンツには対応していません。
- エンコード条件によって再生可能なファイルサイズは異なります。
- WMA形式の音声コーデックはWindows Media Audio V7以降のみがサポートされています。
- AAC Mainプロファイルはサポートしていません。
- ファイルを作成したエンコーダーによっては動画ファイルは再生できないことがあります。
- 対応している形式以外の動画ファイルは正常に再生できないことがあります。
- 高速転送をサポートしないUSBストレージデバイスに保存されている動画ファイルは、正常に再生できないことがあります。
- DTSコーデックは、USBおよびHDMI動画ファイルの再生のみサポートされます。

音楽

音楽の再生

[音楽]アプリを使用して、音楽を再生できます。

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
- 2 [音楽]アプリケーションを起動します。
- 3 目的のストレージデバイスを選択します。
目的の曲をすべてのストレージデバイスから選択して、[マイプレイリスト]に追加できます。
- 4 お好みの音楽コンテンツを選んでお楽しみください。



	説明
①	目的のタイプのコンテンツの一覧を選択します。
②	選択したコンテンツを削除します。 (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません)
③	コンテンツを選択して[マイプレイリスト]に追加します。
④	音楽プレーヤーを開きます。
⑤	[検索]を起動します。

- コンテンツファイルの総数が5,000を超えると、一部のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

音楽プレーヤーの使用



	説明
①	[音楽]アプリで音楽リストを表示して、再生する曲を選択します。
②	リピート再生およびランダム再生を設定できます。
③	画面をオフにした状態で音楽を再生できます。
④	音楽プレーヤーの位置を変更できます。
⑤	音楽プレーヤーを最小化できます。
⑥	音楽プレーヤーを終了します。

- リモコンの ボタンを押すと、音楽プレーヤーを再び開くことができます。
- 音楽プレーヤーは一部の機能を使用できないことがあります。
- 音楽プレーヤーは、次のようにして実行することもできます。
 - [音楽]アプリで を選択します。
 - [写真&動画]アプリで写真を表示しながら、 を選択します。

音声形式

ファイル形式	項目	情報
.mp3	ビットレート	32 kbps～320 kbps
	サンプル周波数	16 kHz～48 kHz
	サポート	MPEG1、MPEG2
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wav	ビットレート	-
	サンプル周波数	8 kHz～48 kHz
	サポート	PCM
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.ogg	ビットレート	64 kbps～320 kbps
	サンプル周波数	8 kHz～48 kHz
	サポート	Vorbis
	チャンネル	モノラル、ステレオ
.wma	ビットレート	128 kbps～320 kbps
	サンプル周波数	8 kHz～48 kHz
	サポート	WMA
	チャンネル	最大6チャンネル

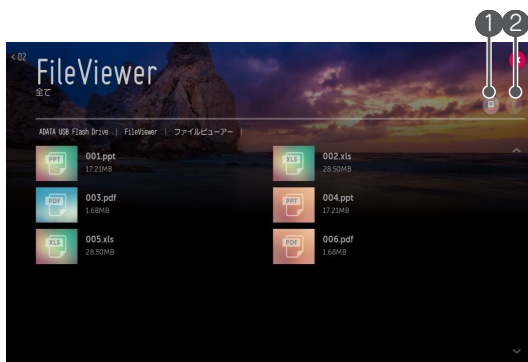
- サンプル周波数によってサポートされるチャンネルの数は異なります。

ファイルビューアー

ファイルの表示

接続されたデバイスに保存されているドキュメントファイルを表示できます。

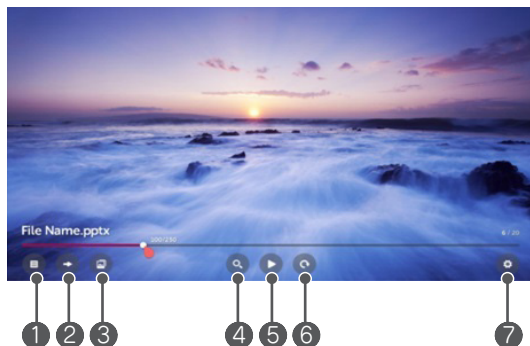
- 1 リモコンの  ボタンを押します。
- 2 [File Viewer]アプリケーションを起動します。
- 3 目的のストレージデバイスを選択します。
- 4 目的のドキュメントファイルを選択して表示します。



	説明
①	目的のコンテンツのタイプと表示方法を選択します。
②	目的のコンテンツを選択して削除します。 (他のデバイスから共有されているファイルは削除できません。)

- コンテンツファイルの総数が40,000を超えると、特定のコンテンツが一覧に表示されない場合があります。

ファイルビューアー画面



	説明
①	全コンテンツの一覧に戻ります。
②	指定したページに移動します。
③	スライドショーを設定します。
④	ドキュメントを拡大または縮小します。
⑤	スライドショーが開始されます。
⑥	ドキュメントを回転させます。
⑦	ファイルビューアーのオプションを設定します。

サポートされているファイル形式

XLS、XLSX、DOC、DOCX、PPT、PPTX、TXT、PDF、HWP
Microsoft Office 97/2000/2002/2003/2007/2010/2013/2016
バージョン

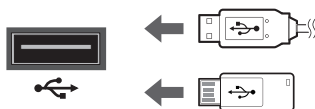
Adobe PDF 1.0/1.1/1.2/1.3/1.4バージョン

Hangul 2007バージョン

- ファイルビューアーではドキュメントを再編成するため、PCでの表示と異なることがあります。
- 画像を含むドキュメントは、並べ替え処理中に解像度が低下して表示されることがあります。
- ドキュメントのサイズが大きいか、多くのページが含まれている場合は、読み込みに時間がかかることがあります。
- サポートされていないフォントは、別のフォントで置き換えられることがあります。
- 解像度の高い画像が多く含まれているOfficeドキュメントではファイルビューアーが開けないことがあります。その場合は、ドキュメント内の画像を圧縮して、ファイルサイズを小さくしたものをUSBストレージデバイスに保存し、もう一度ファイルビューアーを実行するか、プロジェクターをPCに接続してPCからファイルを開いてください。

USBの接続

USBストレージデバイス（USB HDD、USBフラッシュドライブ）をプロジェクターのUSB端子に接続し、USBストレージデバイスに保存されているコンテンツファイルをプロジェクターで再生します。



USBストレージデバイスの使用上のヒント

- 自動認識プログラムを内蔵していたり、独自のドライバーを使用しているUSBストレージデバイスは、認識されない可能性があります。
- 一部のUSBストレージデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- USB延長ケーブルを使用すると、USBストレージデバイスが認識されないか、正常に動作しないことがあります。
- Windows OSのFAT32またはNTFSファイルシステムでフォーマットされているUSBストレージデバイスのみを使用してください。
- 定格電圧5V以下、定格電流500mA以下の外部USB HDDを使用することをお勧めします。
- 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします（供給電力が十分でない場合、USBストレージデバイスが正しく検出されないことがあります）。
- 32GB以下のUSBフラッシュドライブまたは2TB以下のUSB HDDを使用することをお勧めします。
- 省エネ機能付きUSB HDDが正常に動作しない場合は、HDDの電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。詳細については、USB HDDの取扱説明書を参照してください。
- USBストレージデバイスのデータは損傷することがあるため、重要なファイルはあらかじめバックアップしておくことをお勧めします。データの破損、損失に関しては、保証の対象外になります。
- [入力]から接続済みのUSBを選択して[取り外し]ボタンを選択してから、USBストレージデバイスを取り外します。
[取り外し]を選択せずにUSBストレージデバイスを取り外すと、プロジェクターまたはストレージデバイスでエラーが発生することがあります。
[入力]を開くには、 (入力) → [すべての入力]を選択します。
- その他の接続方法の詳細については、 → [デバイスコネクター]を参照してください。
- USBストレージデバイスをフォーマットするには、[入力]から接続済みのUSBを選択して、[フォーマット]ボタンを選択します。フォーマットの後、USBストレージデバイスのすべてのデータが削除されて、NTFSまたはFAT32ファイルシステムとしてフォーマットされます。
- USBストレージデバイスを接続する際、スマートプロジェクターサービス（サムネイルイメージの保存と取得など）を提供するためのランダムファイル/フォルダーが作成されます。

スマートフォンの共有

スマートフォンのコンテンツの共有

コンテンツ共有により、同じネットワークに接続されたスマートフォンに保存されている動画、音楽、および写真を再生することができます。

スマートフォンとプロジェクターの接続

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
- 2 [デバイスコネクター]アプリケーションを起動します。
- 3 [スマートフォン]を選択します。
- 4 [デバイスコネクター]の指示に従います。



コンテンツ共有時に特に注意が必要な事項

- コンテンツ共有オプションが適切に動作しない場合は、ネットワーク設定を確認します。
- 無線ネットワークでは正常に動作しない場合があります。有線ネットワーク接続を使用することをお勧めします。
- ネットワーク環境によっては正常に動作しない場合があります。
- 1つのデバイスに複数のディスプレイデバイスを接続している場合、サーバーのパフォーマンスによってはコンテンツが正常に再生されないことがあります。
- コンテンツ共有機能は、マルチキャストに対応していないルーターではサポートされない場合があります。詳細については、ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- コンテンツ共有機能を使用して1080p動画を視聴するには、5GHzの周波数を使用するルーターが必要です。2.4GHzのルーターを使用した場合、動画が正しく再生されないことがあります。
- 字幕がサポートされるのは、一部の接続デバイスのみです。
- 字幕ファイルを後で追加する場合は、共有フォルダーを無効にしてから、もう一度有効にしてください。
- 接続したデバイスに保存されたDRM(デジタル著作権管理)が適用されているファイルは再生されません。
- プロジェクターでサポートされているファイル形式の場合でも、サポートされるファイル形式は接続されたデバイス環境によって異なることがあります。
- 1つのフォルダーにあるフォルダーとファイルが多すぎる場合、適切に動作しないことがあります。
- 接続されたデバイスからインポートしたファイルに関する情報は、正しく表示されないことがあります。
- エンコードによっては、一部のストリームがコンテンツ共有モードで再生されないことがあります。

スマートデバイスの表示

モバイルデバイスの画面をプロジェクターに表示するには

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
 - 2 [Screen Share]アプリケーションを起動します。
 - 3 モバイルデバイスでMiracastモードを有効にします。
 - 4 プロジェクターが、メニューの使用可能なデバイスリストに表示されます。
 - 5 プロジェクターを選択して、接続を開始します。
 - 6 [接続中...]というメッセージが表示され、接続が開始されます。
 - 7 接続が確立されると、接続されたデバイスの画面がプロジェクターに表示されます。
- 接続の信頼性を高めるために、プロジェクターに接続するデバイスは、常に最新のOSバージョンにアップデートしてください。
 - LGエレクトロニクス製以外のデバイスは、検出された場合でも接続されないことがあります。
 - 無線環境によってパフォーマンスが影響を受ける可能性があるため、デバイスは5GHz対応ルーターに接続してください。
 - 応答速度はユーザーの使用環境に応じて異なります。
 - デバイスによって動作は異なります。接続するデバイスの詳細については、デバイスの取扱説明書を参照してください。
 - [Screen Share]アプリの起動後に、[リッスンモード]を[オン]にします。[Screen Share]アプリを起動せずにデバイスを接続できません。
 - [リッスンモード]は、ルーター(アクセスポイント)に接続しているときに無線接続のパフォーマンスに影響を与えることがあります。無線のパフォーマンスに問題がある場合は、[リッスンモード]をオフにすることをお勧めします。
 - 接続が繰り返し失敗する場合は、プロジェクターおよび接続するデバイスの電源をオフにして、もう一度オンにしてから、再試行してください。

PCの共有

コンテンツ共有とは

コンテンツ共有により、PCに保存されている動画、音楽、および写真を再生することができます。

PCの共有ソフトウェアを使用したコンテンツの再生

PCのOSがWindows 7またはWindows 8の場合、新たにソフトウェアをインストールしなくても、音楽、動画、または写真をプロジェクターで再生できます。

- 1 プロジェクターとPCを同一のネットワーク上で設定します。
Windows 7またはWindows 8のPC側のOS上もネットワークを構成します。
 - 2 目的の音楽、動画、または写真ファイルを右クリックして、Windows 7またはWindows 8で提供されているリモート再生機能を使用しているモデルを選択し、選択したファイルを再生します。
モバイルデバイスなどの他のデバイスで再生する場合は、デバイスの取扱説明書を参照してください。
- 複数のプロジェクターやデバイスを接続している場合でも、選択したファイルは1つのデバイスからのみ再生されます。再生速度はネットワーク接続に応じて異なります。

SmartShare PCソフトウェアを用いた、PCに保存されたコンテンツの再生

SmartShare PCソフトウェアを使用して、PCに保存されている音楽/動画/写真をホームネットワークに接続し、プロジェクターで再生することができます。

- 1 プロジェクターと、SmartShareがインストールされたPCを同じネットワーク上で設定します。
 - SmartShareサービスは、プロジェクターとサーバーPCが1つのルーターに接続されている場合にのみ利用できます。
- 2 LGのWebサイトから、SmartShare PCソフトウェアをダウンロードしてインストールします。インストール前に、ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアなど、PCで実行中のプログラムをすべて終了してください。
- 3 SmartShare PCソフトウェアを実行して、共有設定を行います。
- 4 共有した動画と写真は、プロジェクターの[写真&動画]アプリから再生します。共有した音楽ファイルは、プロジェクターの[音楽]アプリから再生します。
 - プロジェクターで共有ファイルを視聴するには、サーバーが稼働中である必要があります。
 -  → [デバイスコネクター] → [PC] → [コンテンツ共有]からWebサイトの情報を確認できます。
 - SmartShare PCソフトウェアの使用方法については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

コンテンツ共有時に特に注意が必要な事項

- コンテンツ共有オプションが適切に動作しない場合は、ネットワーク設定を確認します。
- 無線ネットワークでは正常に動作しない場合があります。有線ネットワーク接続を使用することをお勧めします。
- 1つのデバイスに複数のディスプレイデバイスを接続している場合、サーバーのパフォーマンスによってはコンテンツが正常に再生されないことがあります。
- ネットワーク環境によっては正常に動作しない場合があります。
- コンテンツ共有機能を使用して1080p動画を視聴するには、5GHzの周波数を使用するルーターが必要です。2.4GHzのルーターを使用した場合、動画が正しく再生されないことがあります。
- コンテンツ共有機能は、マルチキャストに対応していないルーターではサポートされない場合があります。詳細については、ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- 字幕がサポートされるのは、一部の接続デバイスのみです。
- SmartShare PCソフトウェアは、字幕の読み取りへの使用が推奨されます。
- 字幕ファイルを後で追加する場合は、共有フォルダーを無効にしてから、もう一度有効にしてください。
- 接続したデバイスに保存されたDRM(デジタル著作権管理)が適用されているファイルは再生されません。
- プロジェクターでサポートされているファイル形式の場合でも、サポートされるファイル形式は接続されたデバイス環境によって異なる場合があります。
- 1つのフォルダーにあるフォルダーとファイルが多すぎる場合、適切に動作しないことがあります。
- 接続されたデバイスからインポートしたファイルに関する情報は、正しく表示されないことがあります。
- エンコードによっては、一部のストリームがコンテンツ共有モードで再生されないことがあります。

PCの表示

PCの画面をプロジェクターに表示するには

無線の接続

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
 - 2 [Screen Share]アプリケーションを起動できます。
 - 3 接続するデバイスでインテル® WiDiを起動します。
 - 4 使用しているプロジェクターが、使用可能なデバイスの一覧に表示されます。
 - 5 プロジェクターを選択して接続を要求すると、プロジェクターの画面に、8桁のPINコードの入力画面が表示されます。
 - 6 PINコードを入力して[接続]を選択します。
 - 7 接続が確立されると、接続されたデバイスの画面がプロジェクターに表示されます。
- 接続の信頼性を高めるために、プロジェクターに接続するデバイスは、常に最新のOSバージョンにアップデートしてください。
 - インテル® WiDiを介して接続するときは、デバイスをプロジェクターの近くに置いてください。
 - インテル® WiDiでは、ワイヤレスルーターなしで接続が可能です。最適なパフォーマンスを実現するために、デバイスを5GHzルーターに接続してください。
 - この機能は、インテル® WiDiをサポートしているPCでのみ使用可能です。
 - インテル® WiDi 3.5バージョン以上の接続をサポートします。
 - 応答速度はユーザーの使用環境に応じて異なります。
 - Windowsバージョンとは異なります。接続するデバイスの詳細については、デバイスの取扱説明書を参照してください。
 - [Screen Share]アプリの起動後に、[リッスンモード]を[オン]にします。[Screen Share]アプリを起動せずに接続できます。
 - [リッスンモード]をオンにすると、ルーター(アクセスポイント)に接続しているときに、無線接続のパフォーマンスに影響を与えることがあります。無線のパフォーマンスに問題がある場合は、[リッスンモード]をオフにしてください。
 - 詳細については、[Screen Share]アプリを参照してください。
 - 接続が繰り返し失敗する場合は、プロジェクターおよび接続するデバイスの電源をオフにして、もう一度オンにしてから、再試行してください。

有線の接続

HDMIケーブルでPCとプロジェクターを接続します。

スマートプロジェクターの利点

[マイスタート]の使用

[マイスタート]を使用すると、現在の時刻、天気予報、モバイルデバイスに追加したスケジュールなどの情報をプロジェクターに表示できます。

- [マイスタート]をプロジェクターまたは[LG TV Plus]アプリで設定すると、指定した時刻にプロジェクターの電源をオンにして、[マイスタート]を自動的に実行することができます。
- 一部の機能は、モバイルデバイスに[LG TV Plus]アプリをインストールした後にのみ使用できます。

プロジェクターでの設定

- 1 リモコンの  (Q.設定) ボタンを押します。
- 2  → [機器設定] → [タイマー] → [オンタイマー] → [マイスタート設定]を選択して、オプションを[オン]に設定します。

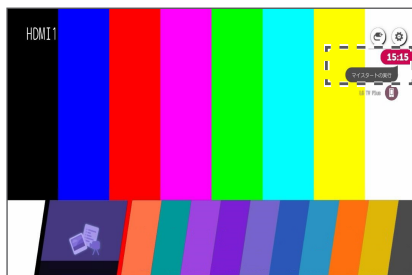
LG TV Plusアプリでの設定

- 1 モバイルデバイスのアプリストアから[LG TV Plus]アプリをダウンロードします。
- 2 プロジェクターとモバイルデバイスを同じネットワークに接続します。
- 3 モバイルデバイスにインストールした[LG TV Plus]アプリを実行します。
- 4 [LG TV Plus]アプリで[マイスタート]を選択して、オプションを設定します。

[マイスタート]を使用したスケジュールの表示

[LG TV Plus]アプリの指示に従って、プロジェクターとのスケジュール共有を設定すると、モバイルデバイスに追加したスケジュールをプロジェクターに表示できるようになります。

- 1  ボタンを押します。
- 2 画面の右上隅に表示された時刻を選択すると、[マイスタートの実行]が実行されます。



- 時刻が表示されていない場合は、プロジェクターの時刻を設定します。
- 複数のモバイルデバイスでプロジェクターとのスケジュール共有が設定されている場合、スケジュール共有を最後に設定したモバイルデバイスのスケジュールが表示されます。
- スケジュール共有は、[マイスタート設定]を設定せずに使用できません。

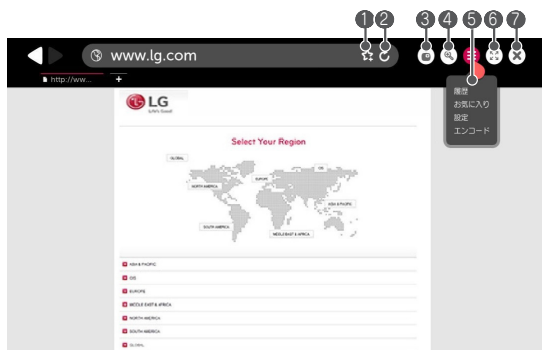
インターネットの利用

ウェブブラウザの使用

URLバーにWebアドレスを入力すると、Webサイトを開くことができます。検索ワードを入力すると、検索エンジンで検索ワードに関連する情報が検索されます。

- この機能は一部の国ではサポートされていません。

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
- 2 [ウェブブラウザ]アプリケーションを起動します。



	説明
①	現在のページをホーム画面に追加したり、[お気に入り]に現在のページを追加または削除したりすることができます。 (ホーム画面に追加したページは、ホーム画面でのみ削除できます。この場合、[お気に入り]からページは削除されません。)
②	現在のページを再読み込みします。
③	ミニTV(ピクチャーインピクチャー)の表示のオン/オフを切り替えます。
④	画面をズームイン/ズームアウトします。

	説明
⑤	[履歴]：履歴の一覧を開いたり削除できます。 [お気に入り]：お気に入りの一覧を開いたり削除できます。 [設定]：ブラウザーの簡単な設定を行うことができます。 [エンコード]：Webページのコンテンツが正しく表示されない場合に、言語を変更できます。
⑥	ブラウザーを全画面モードで使用できます。元の画面に戻るには、リモコンを使用してポインターを画面上部に移動します。[全画面表示を終了]が表示されます。
⑦	[ウェブブラウザ]を終了します。

- [ウェブブラウザ]はHTML5のみサポートされます。フラッシュプラグインには対応していません。
- [ウェブブラウザ]は、プラグインのインストールをサポートしていません。
- [ウェブブラウザ]は、JPEG/PNG/GIF形式以外の画像ファイルを再生できないことがあります。
- [ウェブブラウザ]は、メモリ容量が不足すると強制終了する場合があります。
- [ウェブブラウザ]は、プロジェクターに内蔵されているフォントのみが使用されます。このため、PC上とは異なるフォントでテキストが表示されることがあります。
- [ウェブブラウザ]はファイルやフォントのダウンロードに対応していません。
- [ウェブブラウザ]は、PCのブラウザーとは動作が異なることがあります。
- [ウェブブラウザ]は、一部のコンテンツが正しく再生されないことがあります。
- 本機では、ウェブブラウザを含むアプリの利用を制限することができます。お子様が本機をご使用の際は、お子様にとって有害となる可能性のあるアプリに、この制限機能を適用することを強くお勧めします。
-  (Q.設定) →  → [ロック]の設定を行います。

ウェブブラウザの設定

画面上部にある (≡) を押して、[設定]を選択します。

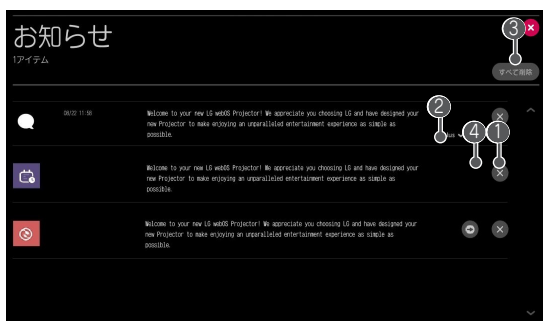
- [起動時]
ブラウザの起動ページを、[新しいタブページを開く]/[中断した箇所から続ける]/[ホームページ:]に設定できます。
 - [検索エンジン]
デフォルトの検索エンジンを選択できます。
 - [プライベートブラウジング]
検索したワードの履歴を残さないように設定できます。
 - [サイトカテゴリー]
 - [承認済みサイト]：以前に登録したWebページのみを開くように設定することができます。
 - [ブロックされたサイト]：特定のWebサイトをブロックするように設定することができます。
- * [サイトカテゴリー]機能を使用するには、プロジェクターのパスワードを入力する必要があります。

お知らせ

お知らせの使用

[お知らせ]は、さまざまなアプリやLGサービスからリアルタイムの通知が送信されます。現在実行されているアプリのステータスが示され、すべてのお知らせを1つの場所で表示、削除、実行することができます。

- 1 リモコンの  ボタンを押します。
- 2 [お知らせ]アプリケーションを起動します。



	説明
①	お知らせを削除できます。
②	お知らせの詳細内容を確認することができます。
③	すべてのお知らせを削除できます。
④	アプリを起動するか、URLに移動できます。

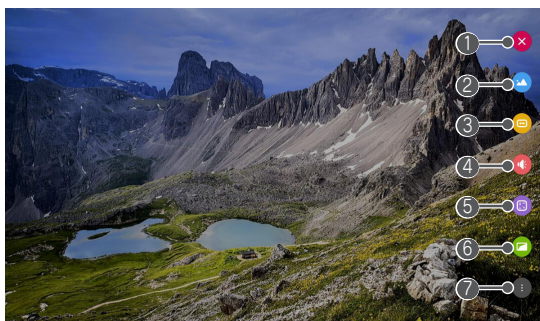
設定一覧のツアー

クイック設定

設定機能をすばやく使用するには

リモコンの  (Q.設定) ボタンを押します。

[映像モード]、[画面サイズ]、[スピーカー設定]などの一連の軽量コントロールを、すばやく簡単に表示できます。



	説明
①	クイック設定を終了します。
②	[映像モード]を設定できます。
③	[画面サイズ]を設定できます。
④	[スピーカー設定]を選択できます。
⑤	[投影モード]を設定できます。
⑥	[エッジ調整]を設定できます。
⑦	プロジェクターの詳細な設定ができます。

映像設定

映像モード

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定] → [映像モード]
視聴環境、環境設定、動画のタイプに最適な映像モードを選択します。

- [あざやか]
コントラスト、明るさ、シャープネスを高めて映像を鮮やかに表示します。
- [標準]
標準レベルのコントラスト、明るさ、シャープネスで映像を表示します。
- [ライブシアター]
映画観賞に適した画質で表示します。
- [スポーツ]
スポーツ観賞に適した画質で表示します。動きの速い映像に最適化して表示します。
- [ゲーム]
ゲームに適した画質で表示します。
- [シネマ1]/[シネマ2]
ご自身でさまざまな調整を手動で行うことで、よりお好みの画質に設定することができます。

映像モード設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定]

選択した映像モードを詳細に調整することができます。

- [コントラスト]
映像の明暗の差を調整します。値が100に近づくほど、コントラストが高くなります。
- [明るさ]
画面の全体的な明るさを調整します。値が100に近づくほど、画面が明るくなります。
- [シャープネス]
映像のシャープさを調整します。値が50に近づくほど、映像がシャープで鮮明になります。
- [垂直シャープネス]
垂直方向のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [水平シャープネス]
水平方向のコントラストエッジのシャープネスを調整します。
- [色の濃さ]
映像の色の濃さを調整します。値が100に近づくほど、色合いが強くなります。
- [色合い]
映像の赤と緑の色バランスを調整します。値が赤50に近づくほど、赤色が強くなります。値が緑50に近づくほど、緑色が強くなります。
- [色温度]
色温度を高/中/低/ナチュラルから選択します。
 - 調整した設定は、現在選択している入力モードにのみ適用されます。調整した映像設定をすべての入力モードに適用するには、[すべての入力に適用]を選択します。
 - 入力信号または選択した映像モードによっては、設定可能な項目が異なる場合があります。
- [すべての入力に適用]
調整した映像設定の内容をすべての入力に適用します。
- [初期化]
映像の設定を初期化します。
 - 映像モードを個別に初期化できます。初期化する映像モードを選択すれば、該当の設定が初期化されます。

詳細設定/プロ設定

それぞれの映像モードの画面設定を調整します。

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定] → [詳細設定]

- [ダイナミックコントラスト]

最適な表示にするために、映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を補正します。

- [ダイナミックカラー]

映像の色彩が鮮やかで明るくなるように、映像の色と彩度を調整します。

- [色補正]

好みに合わせて肌、草木、空の色を調整します。

- [色域]

表示する色域を選択します。

- [超解像]

解像度を調整して、暗くぼやけた映像をよりクリアにします。

- [ガンマ]

中間色の明るさの強さを調整します。

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [映像モードの設定] → [プロ設定]
映像モードを[プロ]に設定した場合、次の機能を設定できます。

- [ダイナミックコントラスト]
最適な表示にするために、映像の明るさに応じて、画面の明るい部分と暗い部分の差を補正します。
- [超解像]
解像度を調整して、暗くぼやけた映像をよりクリアにします。
- [色域]
表示する色域を選択します。
- [輪郭補正]
映像のエッジをよりクリアにはっきりとさせながら、自然に表示します。
- [カラーフィルター]
RGBカラーの特定の色スペクトルをフィルターして、彩度と色相を正確に設定できます。
- [ガンマ]
中間色の明るさの強さを調整します。
- [ホワイトバランス]
画面全体の色温度を好みに合わせて調整します。
- [カラーマネージメント]
エキスパートが6つの色域 ([赤]/[緑]/[青]/[シアン]/[マゼンタ]/[黄]) のテストパターンを使用して、色の調整を行う際に使用する機能です。他の色域には影響しません。通常の映像の場合、調整を行っても顕著な色の変化は現れないことがあります。
 - ー 入力信号または選択した映像モードによっては、設定可能な項目が異なる場合があります。

映像オプション

 (Q.設定) →  → [映像] → [映像モードの設定] → [映像オプション]

詳細な設定に調整することで、映像をさらに最適化します。

- [ピクチャーノイズリダクション]
目立つ小さなドットを取り除いて、映像がクリーンになるようにします。
- [MPEGノイズリダクション]
デジタル映像信号の作成時に生成されたノイズを低減します。
- [黒レベル]
画面の暗さを調整して、画面の明るさとコントラストを補正します。
- [リアルシネマ]
表示する映像が映画館の上映と同じ24fpsだった時に48Hzに変換して表示させます。

画面サイズ

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [映像] → [画面サイズ]

- [16:9]
16 : 9の画面サイズで表示します。
- [オリジナル]
入力ビデオ信号に応じて、画面サイズを4:3または16:9に変更します。
- [4:3]
4 : 3の画面サイズで表示します。
- [垂直方向にズーム]
[ズームの調整]および[画面位置の調整]を使用して、画面の垂直寸法を調整し、画面を垂直方向に揃えます。
- [全方向にズーム]
[ズームの調整]および[画面位置の調整]を使用して、画面の水平/垂直/対角寸法を調整し、画面を水平方向/垂直方向に揃えます。
 - 各画面サイズで[ジャストスキャン]を有効にした場合、一切の領域をトリミングせずに元の映像で、選択した画面サイズで表示できます。
 - 入力信号によっては、使用可能な画面サイズが異なる場合があります。

映像省エネ設定

 (Q.設定) →  → [映像] → [映像省エネ設定]
画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。

- [最小]/[中]/[最大]
事前に設定した[映像省エネ設定]モードを適用します。

映像テスト

 (Q.設定) →  → [映像] → [映像テスト]
映像が正常に表示できるかテストを実施します。映像信号出力が正常か確認し、エラーがあるかを選択します。
テスト映像で問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してください。

音声設定

サウンドモード

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [サウンドモードの設定] → [サウンドモード]

ジャンルに合わせて適したサウンドモードを選択できます。

- [標準]
すべてのタイプのコンテンツに適した音質で出力します。
- [シネマ]
映画に適した音質で出力します。
- [クリアボイスIII]
会話を強調して聞き取りやすくします。
- [スポーツ]
スポーツに適した音質で出力します。
- [音楽]
音楽に適した音質で出力します。
- [ゲーム]
ゲームに適した音質で出力します。

サウンドモードの設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [サウンドモードの設定]

- [バランス]
左右のスピーカーの音量のバランスを調整できます。
- [バーチャルサラウンド]
仮想マルチチャンネルのサラウンドサウンドエフェクトにより、臨場感あるサウンドをお楽しみいただけます。
- [イコライザー]
周波数帯域ごとにそれぞれ調整して、好みの音質に調整できます。
(100 Hz/300 Hz/1 kHz/3 kHz/10 kHz)
- [初期化]
サウンド効果の設定を初期化します。
– [サウンドモード]が[標準]に設定されている場合は、[バーチャルサラウンド]、[イコライザー]、および[初期化]のみを使用できません。

スピーカー設定

プロジェクターの内蔵スピーカーからの音声の再生

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー]

プロジェクターの内蔵スピーカーから音声が出力されます。

光デジタルポートまたはHDMI (ARC) ポートに接続された外部オーディオデバイスからの音声の再生

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [外部スピーカー (光デジタル音声/HDMI ARC)]

光デジタルポートまたはHDMI (ARC) ポートに接続された外部オーディオデバイスから音声が出力されます。HDMI(ARC)を介して音声を再生するには、SIMPLINKを有効にします。

- SIMPLINKが有効になっているときに[オフ]を選択すると、音声出力に中断しないように、音声出力設定はデフォルト設定に戻ります。

デジタル音声出力の設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [外部スピーカー (光デジタル音声/HDMI ARC)] → [デジタル音声出力]

[デジタル音声出力]を設定できます。

- [外部スピーカー (光デジタル音声/HDMI ARC)]/[プロジェクター内蔵スピーカー + オーディオ出力 (光デジタル)]が選択されている場合にのみ使用できます。

	音声入力	デジタル音声出力
[自動]	MPEG	PCM
	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル
	ドルビーデジタル Plus	ドルビーデジタル
	HE-AAC	ドルビーデジタル
	DTS	DTS/PCM
	DTS Express	PCM
	DTS-HDマスターオーディオ	PCM/DTS
[PCM]	すべて	PCM

LGサウンドシンク（光デジタル音声）をサポートするオーディオデバイスの接続および使用

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [LGサウンドシンク(光デジタル音声)]

[LGサウンドシンク(光デジタル音声)]をサポートするオーディオデバイスを光デジタル音声出力ポートに接続すると、プロジェクターの音声をより高品質で再生でき、利便性も向上します。

－ プロジェクターのリモコンを使用して、接続されているデバイスの音量を調整できます。

無線によるオーディオデバイスの接続および使用

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [LGサウンドシンク / Bluetoothデバイス]

Bluetooth対応のオーディオデバイスやヘッドセットを無線で接続すると、プロジェクターの音声をより高品質で再生でき、利便性も向上します。

- LGサウンドシンクがサポートされているデバイスに接続した場合、次に起動したときに自動的にデバイスに接続を試みます。
- 一部のデバイスでは、プロジェクターの電源を入れると、この機能によって最近接続したデバイスへの接続が自動的に試みられます。
- LGサウンドシンクをサポートしているLGオーディオデバイスを、LG TVモードまたはLGサウンドシンクモードに設定して接続することをお勧めします。
- 接続済みのデバイスや、接続可能なデバイスを表示するには、[デバイスの選択]を押します。
- プロジェクターのリモコンを使用して、接続されているデバイスの音量を調整できます。
- デバイスが接続に失敗する場合は、接続するデバイスの電源をがオンになっているか、オーディオデバイスが適切に動作しているかどうかを確認してください。
- Bluetoothデバイスのタイプによっては、デバイスが適切に接続されなかったり、ビデオと音声同期しないなど、正常に動作しない場合があります。
- 次の場合、音声途切れたり、音質が低下したりする場合があります。
 - － Bluetoothデバイスとプロジェクターの距離が遠い。
 - － Bluetoothデバイスとプロジェクターの間に障害物がある。
 - － 電子レンジや無線LANなどの他の無線機器と併用している。
- デュアルモード/ダブルモード/2チャンネルモードをサポートするBluetoothスピーカーとMagic Remoteを併用すると、スピーカーの性能が制限される場合があります。

有線ヘッドホンの使用

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [ヘッドホン]
接続されているデバイスに応じて音声出力を最適化するには、[ヘッドホン]を選択します。

- プロジェクターの電源がオンになっているときに有線ヘッドホンを接続すると、ヘッドホンが自動的に検出され、音声はヘッドホン経由に切り替えられます。

プロジェクター内蔵スピーカーと外部オーディオデバイスからの音声の同時再生

音声を複数のデバイスから同時に再生することができます。

- [プロジェクター内蔵スピーカー + オーディオ出力 (光デジタル)] の使用

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー + オーディオ出力 (光デジタル)]
プロジェクターの内蔵スピーカーと、光デジタル音声出力ポートに接続されたオーディオデバイスから、音声と同時に出力されます。

- [プロジェクター内蔵スピーカー + ヘッドホン]の使用

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [スピーカー設定] → [プロジェクター内蔵スピーカー + ヘッドホン]
プロジェクターの内蔵スピーカーと[ヘッドホン]から同時に音声が出力されます。

自動音量

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [自動音量]
[オン]をクリックすると、音量が自動的に調整されます。

AVシンク

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [AVシンク]
動作しているスピーカーからの音声の同期を調整します。
[-(マイナス)]に近づくほど、音声出力が速くなります。[+(プラス)]
に近づくほど、音声出力が遅くなります。

(ただし、[スピーカー設定]が[LGサウンドシンク / Bluetoothデバイス]
に設定されていると、音声出力速度の設定は速くすることしかでき
ません。この場合、[+(プラス)]に近づくほど、音声出力速度がデフォ
ルトに比べて速くなります。)

[Bypass]を選択した場合、外部デバイスの音声を遅延なく出力しま
す。プロジェクターは映像入力の処理に時間がかかるため、音声映像
より先に出力されてしまうことがあります。

音声テスト

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [音声] → [音声テスト]
[音声テスト]を開始して、音声信号出力が正常であることを確認し、続
いてエラーがあるか選択します。

テストで問題がない場合は、接続された外部デバイスを確認してくだ
さい。

- 音声テストは、プロジェクター内蔵スピーカーのみ使用できます。

ネットワーク

プロジェクトター名

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ネットワーク] → [プロジェクトター名]
スクリーンキーボードを使用して、ネットワークで使用するスマートプロジェクトターの名前を設定できます。

- 英語のアルファベットを使用して、最大30文字まで入力できます。

有線ネットワーク接続

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ネットワーク] → [有線ネットワーク接続]
ケーブル接続が確立されている場合、プロジェクトターはネットワークに自動的に接続されます。

ネットワークの接続設定を変更するには、[ネットワーク設定]で[編集]を選択します。

無線ネットワーク接続

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ネットワーク] → [無線ネットワーク接続]
プロジェクトターを無線ネットワークに設定すれば、利用可能な無線インターネットネットワークを確認して接続することが可能です。

- [非表示の無線ネットワークを追加]
ネットワーク名を直接入力すれば、ワイヤレスネットワークを追加することができます。
- [WPS-PBCで接続]
PBCをサポートしているワイヤレスルーター(アクセスポイント)のボタンを押して簡単に接続できます。
- [WPS-PINで接続]
接続先のワイヤレスルーターのPINをAP設定Webページに入力すると、簡単に接続できます。
- [Wi-Fi詳細設定]
ネットワークの情報を直接入力して、無線ネットワークに接続します。

Wi-Fi Direct

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ネットワーク] → [Wi-Fi Direct]

[Wi-Fi Direct]は、ワイヤレスルーターなしでプロジェクターをWi-Fi Direct対応デバイスに接続できる機能です。Wi-Fi Direct経由で接続されたデバイスに保存されたファイルを、[写真&動画]アプリおよび[音楽]アプリで開くことができます。

- 1 接続するデバイスのWi-Fi Directを有効にします。
- 2 プロジェクターに接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- 3 接続するデバイスを選択します。
- 4 デバイスが要求を承認すると、Wi-Fi Directが接続されます。
- 5 接続デバイスで、LG TV Plusアプリまたはコンテンツ共有機能を使用してプロジェクターで開く動画、音楽、および写真ファイルを選択します。
- 6 Wi-Fi Direct経由で接続されたデバイスに保存されたファイルを、[写真&動画]アプリおよび[音楽]アプリで開くことができます。

LG Connect Apps

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ネットワーク] → [LG Connect Apps]

[LG Connect Apps]は、写真共有やモバイルデバイスのリモート操作などのアプリが、プロジェクターの特定の機能にアクセスして制御できるようにします。

[LG Connect Apps]を[オン]に設定します（この機能の使用を停止する場合は、この設定を[オフ]にしてください）。

- すべての機器をプロジェクターから切断する場合は、画面の[ペアリング解除]をクリックします。

機器設定

言語設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [言語設定 (Language)]
画面に表示されるメニュー言語を選択できます。

- [メニュー言語]
画面に表示されるメニュー言語のいずれかを選択できます。
- [キーボード言語]
ソフトウェアキーボードの言語を選択します。

地域設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [地域設定]
スマートプロジェクターの地域設定を変更できます。
ネットワークに接続していない場合、国を手動で設定する必要があります。

設定可能な項目は、国によって異なります。

- [郵便番号設定]
郵便番号を入力し、プロジェクターの受信地域を設定できます。
- [サービス対象国]
[自動で設定]を使用しない場合、国を手動で選択できます。

時刻設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [時刻設定]

プロジェクターを視聴しながら、時刻の確認、変更ができます。

- [自動で設定]
プロジェクター画面に表示される時刻をネットワーク経由で自動的に設定します。
- [時刻]/[日付]/[タイムゾーンの設定]
自動で設定された現在時刻が正しくない場合は、時刻と日付を手動で設定できます。
- [カスタムタイムゾーン]
[タイムゾーンの設定]で[カスタム]を選択すると、[カスタムタイムゾーン]メニューが有効になります。

スリープタイマー

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [タイマー] → [スリープタイマー]

指定された時刻にプロジェクターの電源がオフになるように設定します。

[スリープタイマー]を無効にする場合は、[オフ]を選択します。

オンタイマー/オフタイマー

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [タイマー] → [オンタイマー]/[オフタイマー]

プロジェクターの電源オン/電源オフの時刻を設定できます。

[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定しない場合は、[オフ]を選択します。

[オンタイマー]/[オフタイマー]を設定する場合は、時刻を正しく設定します。

- [オンタイマー]で設定された時刻にプロジェクターの電源がオンになった後、120分間いずれのボタンも押さないと、プロジェクターの電源は自動的にオフになります。プロジェクターの電源が自動的にオフにならないようにするには、[2時間後に自動電源オフ]を[オフ]に設定します（この機能は、特定の国でのみ使用できます）。

自動オフ

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [タイマー] → [自動オフ]

入力信号がないか、ボタンを押さなかった場合、事前に設定した時間の経過後にプロジェクターの電源が自動的にオフになります。

機器省エネ設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [機器省エネ設定]

消費電力を抑えるように電源オプションを設定します。

- [自動電源オフ]
指定された時間、ボタンの入力がなかった場合に、プロジェクターの電源が自動的にオフになるよう設定します。
- [HDD省エネモード]
このモードを[オン]に設定すると、プロジェクターに接続されたUSB HDDが、長時間にわたって操作されない場合に節電モードになります。

モバイルプロジェクター電源オン

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [モバイルプロジェクター電源オン]

[オン]に設定すると、[モバイルプロジェクター電源オン]をサポートするアプリケーションを使用してプロジェクターの電源をオンにすると、アプリケーションの画面をプロジェクターに表示することができます。

- プロジェクターがネットワークに接続されている必要があります。
- プロジェクターが電源に接続されている必要があります。
- プロジェクターおよび使用するデバイスが同じネットワークに接続されている必要があります。
- 初めて接続する際には、使用するデバイスの接続準備ができていないことを確認してください。
- この機能は、特定の国でのみ使用できます。

SIMPLINK (HDMI-CEC)

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [SIMPLINK (HDMI-CEC)]
HDMI経由で接続したさまざまなマルチメディア機器を、プロジェクターのリモコンで制御および使用できます。

PJTモード

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [投影モード]
この機能を使用すると、投写される映像の上下または左右が逆になります。

エッジ調整 (4コーナー台形補正)

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [エッジ調整]
投影面に対して、プロジェクターを平行な場所に設置できない場合、[エッジ調整] (4コーナー台形補正) で、映像の水平方向、垂直方向を調整します。この機能により、投影された映像の形の歪みを補正できます。
この機能は、プロジェクターが最適な角度に設置できないときのみ使用してください。[エッジ調整]を使用すると、画像の品質が落ちることがあります。

- [エッジ調整]の値の範囲は次のとおりです。
 - [左上] (水平 : 0~100、垂直 : 0~100)
 - [右上] (水平 : -100~0、垂直 : 0~100)
 - [左下] (水平 : 0~100、垂直 : -100~0)
 - [右下] (水平 : -100~0、垂直 : -100~0)

自動キーストーン

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [自動キーストーン]
[自動キーストーン]は、プロジェクターの傾きによって画面映像が台形になっている場合に、台形補正値を自動的に調整して画面映像を長方形に補正します。

- [オン]
台形補正値を自動的に調整します。
- [オフ]
台形補正値を手動で調整します。

自動電源

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [自動電源オン]

プロジェクターに電源コードが接続されている場合、プロジェクターの電源を自動的にオンにします。

- [オン]
電源コードがプロジェクターに接続されていると、自動的にオンになります。
- [オフ]
電源コードがプロジェクターに接続されていると、スタンバイモードになります。

高地

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [高高度]

標高1200mよりも高い場所でプロジェクターを使用する場合は、この設定をオンにしてください。

オフのまま使用すると、プロジェクターが過熱したり、保護機能が有効になることがあります。

その場合は、プロジェクターの電源をオフにして、数分待ってから再度オンにしてください。

- この機能は、特定のモデルでのみ使用できます。

LGワイヤレスキーボード

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [LGワイヤレスキーボード]

この機能を使用すると、LGワイヤレスキーボードをプロジェクターに接続できます。

デバイスの電源をオンにし、ペアリングモードに設定してから、プロジェクターの画面で[接続]をクリックします。

- サポートされているキーボード
 - LG Rolly Keyboard
- すでに接続済みのLGワイヤレスキーボードがある場合、プロジェクターの電源をオンにすると、そのキーボードが自動的にプロジェクターに再接続されます。
- 接続を切断するには、[切断]をクリックします。
- この機能は、特定のモデルでのみ使用できます。

設定のヘルプ

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [設定のヘルプ]

設定メニューを選択すると、設定のヒントが表示されます。設定の説明ボックスのオン/オフを切り替えます。

スクリーンセーバー

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [スクリーンセーバー]

現在表示されているアプリが1時間入力を受信しないと、[スクリーンセーバー]に切り替わります。

初期化

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [初期化]

プロジェクターを初期設定に戻します。この設定を行うと、すべての設定がデフォルト値に戻ります。

初期化の後、プロジェクターの電源は自動的にオフになってから、オンになります。

- [ロック]を[オン]に設定した場合、[初期化]にパスワードを入力する必要があります。
- 初期化中に電源をオフにしないでください。

このプロジェクターについて

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [このプロジェクターについて]

カスタマーサービスに関する情報を確認できます（ソフトウェアアップデート、プロジェクター情報、ユーザー規約など）。

自己診断

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [自己診断]

製品使用中に起こった機能的不具合をトラブルシューティングします。

モード設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [機器設定] → [モード設定]

[ホームモード]または[パブリックモード]を選択できます。

プロジェクターをご家庭で使用する場合は、[ホームモード]を選択してください。

[パブリックモード]は、プロジェクターを店舗に展示する場合にのみ使用します。[パブリックモード]を選択すると、店舗での展示に最適な設定になります。

[ロック]設定

- [ロック]を[オン]に設定します。
- 初期パスワードは「0000」に設定されています。
国の設定がフランスの場合、パスワードは「0000」ではなく「1234」です。
- これはモデルによって異なることがあります。

アプリの使用制限

 (Q.設定) →  → [ロック] → [アプリの使用制限] → ロックするアプリケーションを選択します。

アプリケーションのロックまたは解除を設定します。

- 実行中のアプリケーションは、すぐにはロック機能は適用されません。

入力のロック

 (Q.設定) →  → [ロック] → [入力のロック] → ロックする入力を選択します。

入力のロックを、ロックまたはロック解除できます。

パスワード設定

 (Q.設定) →  → [ロック] → [パスワード設定]
プロジェクターのパスワードを設定または変更します。

ユーザー補助

ポインター設定

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ユーザー補助] → [ポインター設定]

ポインターの速度とデザインを設定できます。

- モデル、または地域によっては、この機能が提供されていない場合があります。

透過メニュー

⚙️ (Q.設定) → ⓘ → [ユーザー補助] → [透過メニュー]

プロジェクター画面に表示される一部機能のインターフェイス画面を透過になるよう設定できます。

このオプションを[オフ]に設定すると、インターフェイス画面は透過表示されません。

トラブルシューティング

製品の使用中に次のいずれかの問題が発生した場合は、以下の点を確認してください。製品には問題がない可能性があります。

製品の問題に関するカスタマーサービスの情報は、プロジェクターの  (Q.設定) →  → [機器設定] → [このプロジェクターについて] で確認できます。

異常動作

電源をオンにしてしばらく経っても画面が表示されない。

- 電源投入中に発生する可能性があるノイズを除去するためのノイズ除去プロセスによるものです。製品不良ではありません。

マジックリモコンのポインターが画面に表示されない。

[国ごとに異なります]

- マジックリモコンの乾電池の残量が不足している可能性があります。取扱説明書25ページの「マジックリモコン」に記載された手順に従って電池を交換し、マジックリモコンをもう一度登録してください。

プロジェクターで非常に大きいノイズが発生する。

[モデルごとに異なります]

- 内蔵されている気圧センサーに基づいて、標高1200 mより高い高地では、ファンが高高度モードで動作します。
- ファンが高高度モードで動作していると、ファンの回転数が高くなり、ノイズが発生することがあります。

画面の問題

まず、 (Q.設定) →  → [映像] → [映像テスト]を実行して、プロジェクターに異常がないかを確認します。

水平または垂直の線または網目模様が瞬間的に表示された後、画面が揺れる。

- モバイルデバイス、ヘアドライヤー、電動ドリルなどを使用している場合は使用を中止してください。別のプロジェクターなどの高周波電子機器、または強力な電磁気源が原因になる場合があります。

HDMI®ケーブルで接続したときに、画面がブランクになるか、映像がぼやける。

- HDMI®ケーブルが必要な基準を満たしていることを確認してください。認証されていないHDMI®ケーブルを使用している場合、画面がちらついたり、画面に表示されないことがあります。
- ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。正しく接続されていないと、画面のちらつきの原因となることがあります。

USBストレージデバイスを接続しても動作しない。

- USBストレージデバイスおよびUSBケーブルがバージョン2.0以上に対応しているか確認してください。

音声の問題

まず、 (Q.設定) →  → [音声] → [音声テスト]を実行して、プロジェクターに異常がないかを確認します。

画面は良好だが、音声再生されない。

-  (Q.設定) →  → [音声] → [スピーカー設定]
[スピーカー設定]が[プロジェクター内蔵スピーカー + オーディオ出力 (光デジタル)]と[プロジェクター内蔵スピーカー]のいずれに設定されているかを確認します。

HDMI/USB端子に接続すると音声再生されない。

- 高速HDMI®ケーブルを使用していることを確認します。
- USBストレージデバイスおよびUSBケーブルがバージョン2.0以上に対応しているか確認してください。
- 音楽ファイルの形式を確認してください。*.mp3、*.wav、*.ogg、*.wma以外のファイル形式には対応していません。

PC接続の問題

PCに接続した後も画面がブランクのままになっている。

- PCがプロジェクターに正しく接続されているか確認してください。
- リモコンでプロジェクターの電源をオフにして再度オンにしてください。
- プロジェクターをオンにした状態でPCを再起動します。
- 表示している画面の解像度がPC入力をサポートしていることを確認します。
- デュアルモニターを使用する場合は、PCまたはノートブックがデュアルモニターモードに対応しているか確認してください。
- 高速HDMI®ケーブルを接続し直します。

PCをHDMI®ケーブルで接続すると音声が発生しない。

- グラフィックカードまたはPCのHDMI®端子が音声の伝送に対応しているか確認してください。グラフィックカードまたはPCの仕様については、各製造元にお問い合わせください。また、DVIとHDMIの変換ケーブルを使用している場合は、オーディオケーブルの接続が必要になります。

PCに接続した後、画面が欠損したり、片側に寄ったりする。

- PCの解像度をプロジェクターが対応する解像度に設定します（解像度を変更した後、PCを再起動してください）。

写真&動画および動画の再生の問題

[写真&動画]にファイルが見つからない。

- USBストレージデバイスのファイルをPCで読み取れるか確認してください。
- ファイルの拡張子がプロジェクターに対応しているか確認してください。

「このファイルはサポートされていません」というメッセージが表示されるか、音声は通常どおり再生されるが動画が再生されない。

- PCの動作再生ソフトウェアでファイルが問題なく再生されるか確認してください。また、ファイルが破損していないか確認してください。
- ファイルの拡張子がプロジェクターに対応しているか確認してください。
- 映像の解像度が対応しているか確認してください。
- ビデオコーデックが対応しているか確認してください。
- フレームレートが対応しているか確認してください。

「この音声はサポートされていません」というメッセージが表示されるか、動画は通常どおり再生されるか音声再生されない。

- PCの動作再生ソフトウェアでファイルが問題なく再生されるか確認してください。また、ファイルが破損していないか確認してください。
- ファイルの拡張子がプロジェクターに対応しているか確認してください。
- 音声コーデックが対応しているか確認してください。
- ビットレートが対応しているか確認してください。
- サンプリングレートが対応しているか確認してください。
- 音声チャンネルの分離がサポートされているか確認してください。

字幕が表示されない。

- PCの動作再生ソフトウェアでファイルが問題なく再生されるか確認してください。また、ファイルが破損していないか確認してください。
- ビデオファイル名と字幕ファイル名が一致しているか確認してください。
- ビデオファイルと字幕ファイルが同じフォルダーにあるか確認してください。
- 字幕ファイルの形式が対応しているか確認してください。
- 言語が対応しているか確認してください（字幕ファイルの言語は、[メモ帳]でファイルを開いて確認できます）。
- 字幕のエンコードが正しく設定されていないと、字幕が正しく表示されないことがあります。
動画再生画面の下部にあるコントロールパネルで  →  を選択し、[コードページ]の値を変更します。
- コンテンツ共有機能で別のデバイスに保存されている動画ファイルを再生する場合、使用するプログラムによっては、字幕を使用できないことがあります。

ネットワーク接続の問題

 ×  ×  ×  プロジェクターの次にXが表示される場合

- プロジェクターまたはルーター(アクセスポイント)を確認します。
- プロジェクター、ルーター、ケーブルモデムの接続ステータスを確認します。
- 次の順序で電源をオフにしてから、オンにします。
 1. ケーブルモデム：ケーブルモデムが初期化されるのを待ちます。
 2. ルーター(アクセスポイント)：ルーターが初期化されるのを待ちます。
 3. プロジェクター
- 無線接続を使用している場合は、SSID（ネットワーク名）およびルーターの無線チャンネルを変更します。
- 静的IPを使用している場合は、IPを直接入力します。
- 設定方法などの詳細はインターネットサービスプロバイダまたはルーターの製造元にお問い合わせください。

 —  ×  ×  ゲートウェイの次にXが表示される場合

- ルーター、ケーブルモデムの電源コードを抜いて、10秒間待ちます。電源を再度オンにしてください。
- ルーターまたはケーブルモデムを初期化（リセット）します。
- 設定方法などの詳細はインターネットサービスプロバイダまたはルーターの製造元にお問い合わせください。
- ルーターの製造元のWebサイトにアクセスして、ルーターに最新バージョンのファームウェアの更新プログラムがないか確認してください。

 —  —  ×  DNSの次にXが表示される場合

- 設定方法などの詳細はインターネットサービスプロバイダまたはルーターの製造元にお問い合わせください。
- ケーブルモデムまたはルーターの電源コードを抜いて、10秒間時間を置いてから電源を再度オンにしてください。
- ケーブルモデムまたはルーターを初期化(リセット)して再接続してください。
- プロジェクター/ルーターのMACアドレスがインターネットサービスプロバイダに登録されていることを確認します（ネットワークステータスウィンドウのペインに表示されたMACアドレスをインターネットサービスプロバイダに登録する必要があります）。

LGアカウントの問題

一部の国では、Website (www.lgappstv.com) へのアクセスが制限される場合があります。

すでにプロジェクターで会員登録している。

- プロジェクターですでに会員登録いただいている場合は、Webサイトで再度ご登録いただく必要はありません。同じIDとパスワードでWebサイトにサインインし、追加情報を入力して、メール認証プロセスを完了することができます。

同じプロジェクターで家族が異なるIDを使用したい。

- 1台のプロジェクターで複数のIDを登録することができます。

ID/パスワードを忘れてしまった。

- サインイン画面で[パスワードを忘れた場合]を選択すると、メールでパスワードを初期化できます。
- PCで会員登録した場合は、Webサイト (www.lgappstv.com) でID/パスワードを調べることができます。

コンテンツの問題

[ホーム]にコンテンツが表示されない。

- この機能は、特定の国でのみ使用できます。
サービス対象国の設定が変更されていると、コンテンツを視聴できないことがあります。 (Q.設定) →  → [機器設定] → [地域設定] → [サービス対象国]で、サービスを利用するサービス対象国に変更してください。

インターネットブラウザの問題

インターネットの使用時に、特定のWebサイトで表示されない部分がある。

- [ウェブブラウザ]ではHTML5のみがサポートされます。フラッシュプラグインには対応していません。
- [ウェブブラウザ]では、プラグインのインストールをサポートしていません。
- [ウェブブラウザ]では、JPEG/PNG/GIF形式以外のメディアファイルを再生できないことがあります。

特定のWebサイトにアクセスするとインターネットブラウザが自動的に終了します。

- Webサイトの総容量が大きすぎる場合、内部メモリが不足してインターネットブラウザが強制終了することがあります。



プロジェクターのモデルおよびシリアル番号は、プロジェクターの背面または側面に記載されています。保守が必要になった場合に備えて、下記にご記入ください。

モデル _____

シリアル番号 _____